

# いわての観光統計

「観光入込客統計に関する共通基準」  
に基づく統計量推計結果  
(平成24年10月~12月)



岩手県PRキャラクター「わんこきょうだい」

平成25年6月

岩手県 商工労働観光部 観光課

# 目 次

## 第1部:「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

1. 調査概要	1
(1) 調査対象期間	1
(2) 共通基準について	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査体系	2
(5) 集計対象(範囲)	2
(6) 用語の定義	3
(7) その他	4
2. 調査結果	5
(1) 調査対象地点数	5
(2) 観光地点等入込客数(延べ人数)	5
(3) 観光入込客数(実人数)	11
(4) 観光消費額	14

## 第2部:観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

1. 調査概要	18
2. 観光客の動向分析	19
(1) 問1 住まいの地域	19
(2) 問2 性別・年代	20
(3) 問3 宿泊形態および宿泊数	21
(4) 問4 訪問の目的	23
(5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ	23
(6) 問6 観光地訪問の認知、回数	24
(7) 問7 岩手県訪問の認知、回数(岩手県外の方のみ対象の設問)	24
(8) 問8 観光地への交通機関	25
(9) 問9 今回の旅行費用について	26

# 第1部 「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

## 1. 調査概要

### (1) 調査対象期間

平成24年10月1日～平成24年12月31日（第3四半期）

### (2) 共通基準について

観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として制定された観光立国推進基本法（平成18年法律第117号）において、国は観光に関する統計の整備に必要な施策を講ずることとされている。

また、観光立国推進基本計画（平成19年6月29日閣議決定）において、「日帰り旅行者に関する統計等その他の観光旅行者に関する統計について、都道府県が行っている統計調査を踏まえつつ、地方公共団体が採用可能な共通基準を策定し、平成22年に共通基準での調査の実施を目指す」とされた。

共通基準は、都道府県における観光入込客に関する統計＝「観光入込客統計」について、把握する項目の定義、調査手法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成する目的で定めたものである。

### (3) 調査方法

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、都道府県ごとの観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

#### ①観光地点等入込客数調査（全数調査）

都道府県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査するもの。

#### ②観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

都道府県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査するもの。

#### ③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

#### (4) 調査体系

本調査の実施単位は岩手県であるが、調査内容が多岐に渡ることから、岩手県及び県内の市町村が相互に連携・協力して実施しているものである。

市町村は選定した観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に観光入込客数を確認し、岩手県は市町村からの報告結果をとりまとめるとともに、10 地点以上の観光地を選定し、観光地点パラメータ調査を実施した。

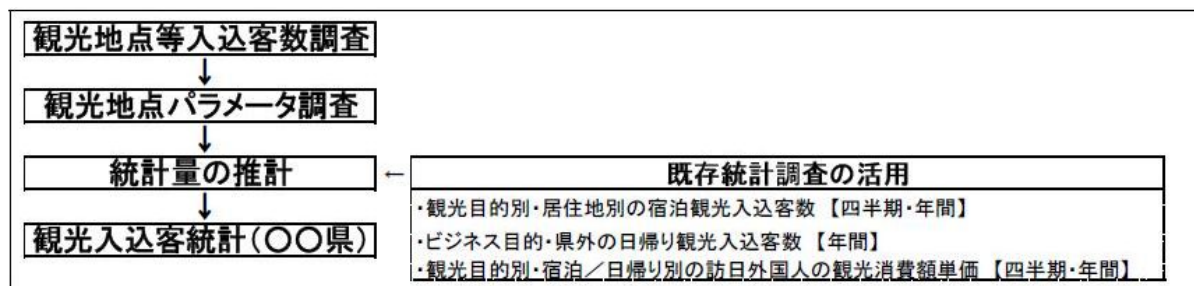


図1 観光入込客統計の調査体系

#### (5) 集計対象(範囲)

観光入込客統計で統計量を推計する対象となる観光地点は、以下の3つの要件を満たす観光地点となる。ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを集計の対象として取り扱うものとする。

- ①非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点であること。ただし、「訪問する頻度が高い者=日常利用者である」とは言い切れない地点については、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えない。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③観光入込客数が年間1万人以上、若しくは特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

なお、上記の確認は、毎年1月1日現在で行うこととなっている。調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、要件を満たすことになる四半期から名簿に追加することとする。

また、1度限りの大規模な行祭事・イベント等、前年の入込客数が把握できないものの、調査年の途中で観光入込客数が上記要件を満たすこととなった場合も、同様に名簿に追加することができる。

## (6) 用語の定義

本報告に使われる用語の定義を以下に記す。

観光	余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動
ビジネス目的兼観光	旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。
観光地点	観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としない。
行祭事・イベント	行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。
観光入込客	日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない。観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。
訪日外国人客	観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者
観光地点等入込客数	観光地点及び行祭事・イベントごとの観光入込客の総数
観光入込客数	都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても1人・回と数える。
訪問地点数	観光入込客1人の1回の旅行において、当該都道府県内で訪問した観光地点の数
観光消費額単価	観光入込客1人の1回の旅行における当該都道府県内での観光消費額
観光消費額	当該都道府県を訪れた観光入込客の消費の総額。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

## (7) その他

### ①延べ人数と実人数について

観光入込客数の実人数とは1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合でも「1」と数えるもので、延べ人数の場合は1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合にその観光地の数だけ数える（例えば5箇所を訪問した場合は「5」と数える）ものである。

### ②調査エリアについて

調査対象となる岩手県内の4つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）は以下のとおり。



図2 調査エリア

## 2. 調査結果

### (1) 調査対象地点数

調査の対象となる地点数は表 1 に示すとおり、観光地点総数が 275、行祭事・イベントが 134 である。

表 1 調査対象地点数

総数	観光地点						行祭事 ・イベント
	自然	歴史 ・文化	温泉 ・健康	スポーツ・ レクリエー ション	都市型 観光	その他	
275	36	60	72	63	22	22	134

### (2) 観光地点等入込客数（延べ人数）

#### ① 総数

平成 24 年 10 月～12 月の入込客数（延べ人数）は、岩手県全体で 5,639,803 人回となり、前年度比で 105.3%となった。また、東日本大震災津波発災前の平成 22 年度比では 94.5%となり、平成 24 年 4 月～6 月の平成 22 年度比 97.1%と比べて若干の落ち込みが見られる。これは、いわてデスティネーションキャンペーン終了の影響や、次の「地域別入込客数」で分かるとおり、沿岸地域の観光産業復興の遅れが影響しているものと思われる。

#### ② 地域別入込客数

岩手県内の 4 つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）の状況は、表 2 及び図 3 に示すとおりである。

入込客数では県南エリアが 2,591,364 人回と最も多く、県北エリアが 622,011 人回と最も少ない。しかしながら、平成 23 年度比では県南エリアのみ 91.4%と減少し、それ以外のエリアではいずれも増加している。

また、沿岸エリアの平成 22 年度比は 53.2%となり、100%近くの数値を示している他のエリアに対して大きく落ち込んでいる。入込客数が未だ回復していないことが分かる。

表 2 地域別入込客数（延べ人数）

単位：人回

地域区分	10 月	11 月	12 月	平成 24 年度 10-12 期合計	平成 23 年度比	平成 23 年度 10-12 期合計	平成 22 年度比	平成 22 年度 10-12 期合計
県央エリア	759,861	432,131	585,467	1,777,459	113.0%	1,573,630	119.8%	1,483,656
県南エリア	1,308,121	847,623	435,620	2,591,364	91.4%	2,836,039	98.4%	2,634,787
沿岸エリア	310,195	197,771	141,003	648,969	188.1%	345,086	53.2%	1,220,479
県北エリア	309,079	178,175	134,757	622,011	103.1%	603,169	99.1%	627,455
総計	2,687,256	1,655,700	1,296,847	5,639,803	105.3%	5,357,924	94.5%	5,966,377

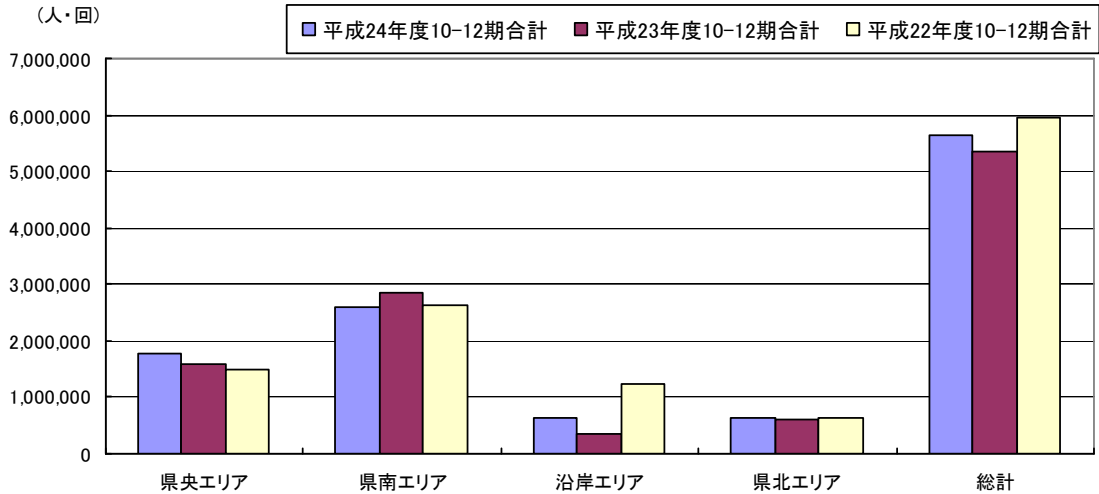


図3 地域別入込客数 (延べ人数から算出)

### ③ 月別入込客数

岩手県全体での月別の入込客数(延べ人数)は表3及び図4に示すとおりである。

10月が2,687,256人回と最も多くなっており、年末に向けて減少している。また、平成23年度比では、10月が98.9%であるものの、11月・12月は100%を超えており、この1年での改善傾向が見られる。一方平成22年度比では、12月は120.7%と増加を見せたが、10月、11月は100%を下回り、未だ震災前の入込には至っていない。

表3 月別入込客数 (延べ人数)

単位:人回

月	平成24年度	平成23年度比	平成23年度	平成22年度比	平成22年度
10月	2,687,256	98.9%	2,716,649	87.0%	3,088,855
11月	1,655,700	102.0%	1,623,371	91.8%	1,802,931
12月	1,296,847	127.4%	1,017,904	120.7%	1,074,591

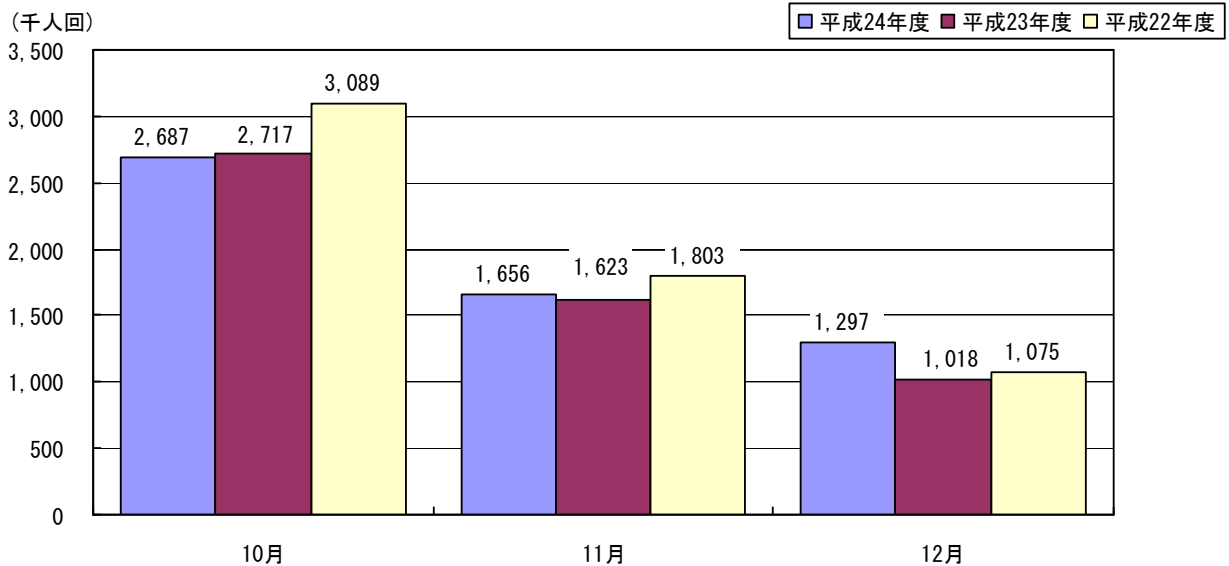


図4 月別入込客数 (延べ人数から算出)



#### ④ 市町村別・月別入込客数

岩手県内の市町村毎の月別入込客数（延べ人数）は表 4 並びに図 5-1、5-2、6-1 及び 6-2 に示すとおりである。

最も入込客数が多かったのは平泉町の 703,809 人回で、次いで盛岡市の 614,568 人回、一関市の 557,638 人回となった。また、平成 23 年度比では、山田町の 14399.4%、田野畑村 1115.0%、滝沢村の 464.5%等、個別施設の復旧・復興等により大幅に入込客数を回復した市町村も見られる。震災前の平成 22 年度との比較では、山田町の 229.9%、滝沢村の 190.5%、盛岡市の 184.2%等、9 の市町村で入込客数の回復が見られるが、沿岸エリアの市町村では山田町を除き 100%を下回っており、未だ入込に回復が見られない状況にある。

表 4 市町村別・月別入込客数（延べ人数）

地域別	10 月	11 月	12 月	平成 24 年度 10-12 期合計	平成 23 年度比	平成 23 年度 10-12 期合計	平成 22 年度比	平成 22 年度 10-12 期合計
盛岡市	185,936	136,830	291,802	614,568	160.1%	383,812	184.2%	333,589
宮古市	65,503	41,006	26,113	132,622	175.0%	75,805	39.8%	333,398
大船渡市	61,614	49,531	42,906	154,051	184.0%	83,725	93.0%	165,648
花巻市	214,339	136,873	152,598	503,810	106.5%	472,989	121.3%	415,223
北上市	12,000	-	-	12,000	80.0%	15,000	57.1%	21,000
久慈市	76,915	41,851	25,428	144,194	137.4%	104,924	133.2%	108,249
遠野市	178,734	126,001	75,008	379,743	89.8%	422,787	92.7%	409,435
一関市	343,617	140,257	73,764	557,638	95.5%	583,841	92.7%	601,770
陸前高田市	20,532	15,847	11,343	47,722	373.6%	12,772	21.8%	218,584
釜石市	52,427	26,600	23,186	102,213	152.4%	67,052	46.2%	221,210
二戸市	80,163	32,483	28,190	140,836	100.1%	140,724	92.1%	152,867
八幡平市	161,236	51,874	118,069	331,179	101.9%	324,886	98.3%	337,001
奥州市	145,713	56,492	37,340	239,545	78.5%	305,346	90.5%	264,569
雫石町	209,042	116,808	80,349	406,199	95.8%	423,830	121.7%	333,701
葛巻町	52,223	20,150	14,548	86,921	101.6%	85,563	93.5%	92,968
岩手町	28,443	18,437	10,364	57,244	66.4%	86,244	57.8%	99,099
滝沢村	27,722	8,928	14,496	51,146	464.5%	11,010	190.5%	26,842
紫波町	79,461	44,946	35,146	159,553	93.8%	170,147	92.1%	173,297
矢巾町	15,798	34,158	20,693	70,649	80.2%	88,138	81.1%	87,159
西和賀町	49,910	37,793	21,172	108,875	77.8%	139,936	82.6%	131,788
金ヶ崎町	34,708	28,046	23,190	85,944	95.2%	90,257	93.4%	92,037
平泉町	329,100	322,161	52,548	703,809	87.3%	805,883	100.7%	698,965
住田町	9,665	6,456	3,214	19,335	75.8%	25,498	84.7%	22,822
大槌町	2,000	-	-	2,000	-	0	6.5%	30,647
山田町	19,822	16,390	15,770	51,982	14399.4%	361	229.9%	22,610
岩泉町	37,032	23,791	12,771	73,594	99.4%	74,003	86.1%	85,450
田野畑村	41,600	18,150	5,700	65,450	1115.0%	5,870	54.5%	120,110
普代村	6,123	4,717	4,535	15,375	102.8%	14,954	147.7%	10,409
軽米町	13,403	6,067	1,967	21,437	127.7%	16,789	93.5%	22,937
野田村	23,868	21,809	13,498	59,175	101.0%	58,581	87.3%	67,779
九戸村	3,842	3,518	3,491	10,851	97.6%	11,120	102.1%	10,631
洋野町	75,091	47,630	42,904	165,625	87.5%	189,272	87.4%	189,565
一戸町	29,674	20,100	14,744	64,518	96.6%	66,805	99.2%	65,018
総計	2,687,256	1,655,700	1,296,847	5,639,803	105.3%	5,357,924	94.5%	5,966,377

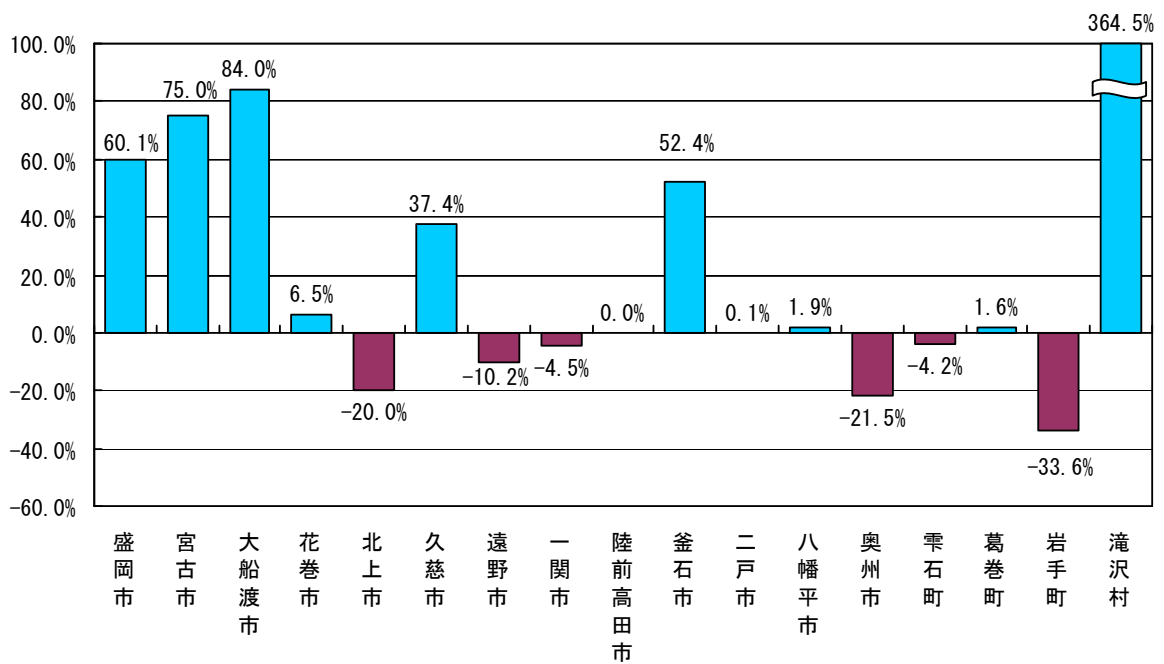


図5-1 市町村別・月別入込客数 平成23年度増減比(1)

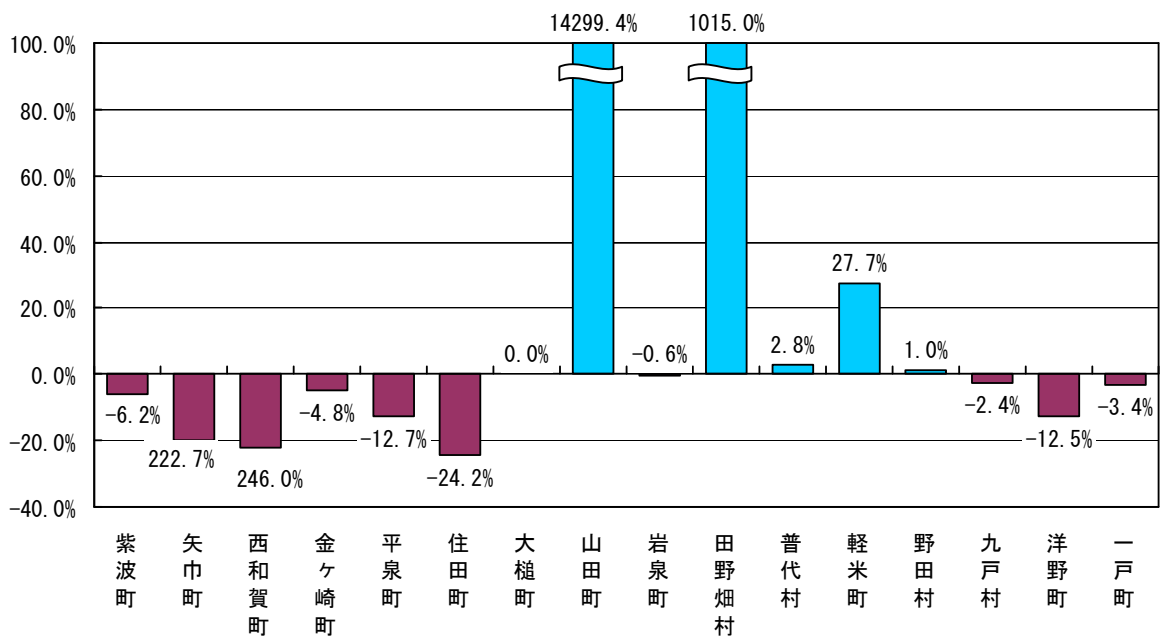


図5-2 市町村別・月別入込客数 平成23年度増減比(2)

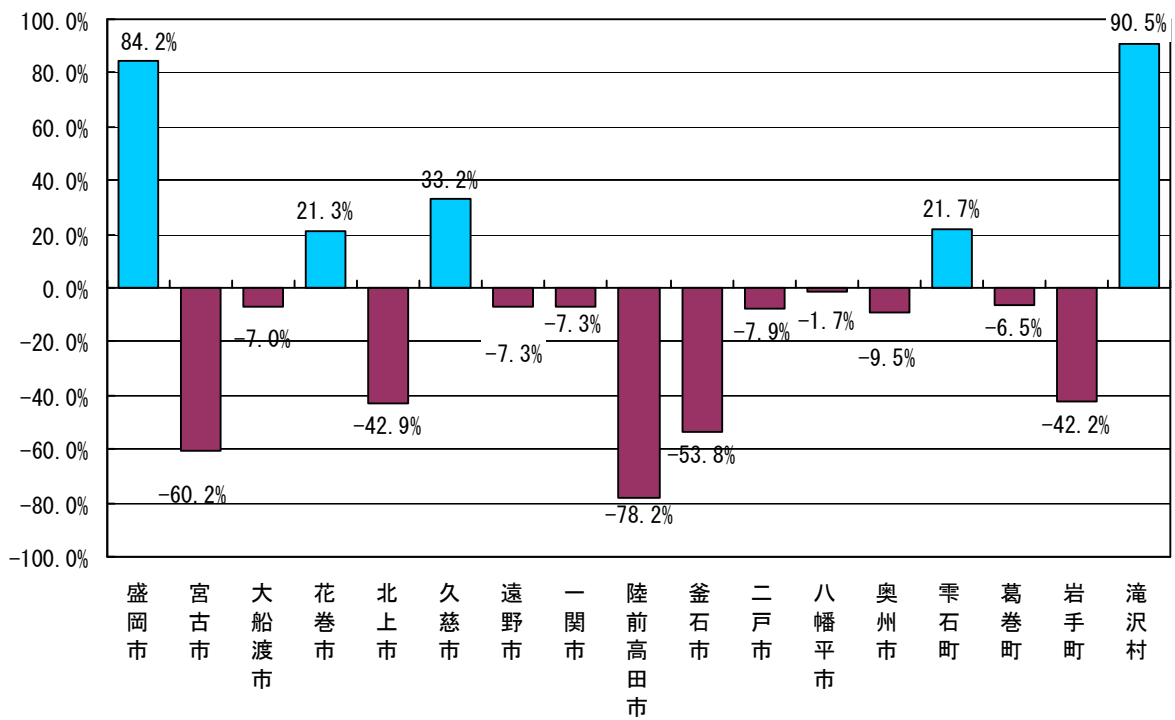


図6-1 市町村別・月別入込客数 平成22年度増減比(1)

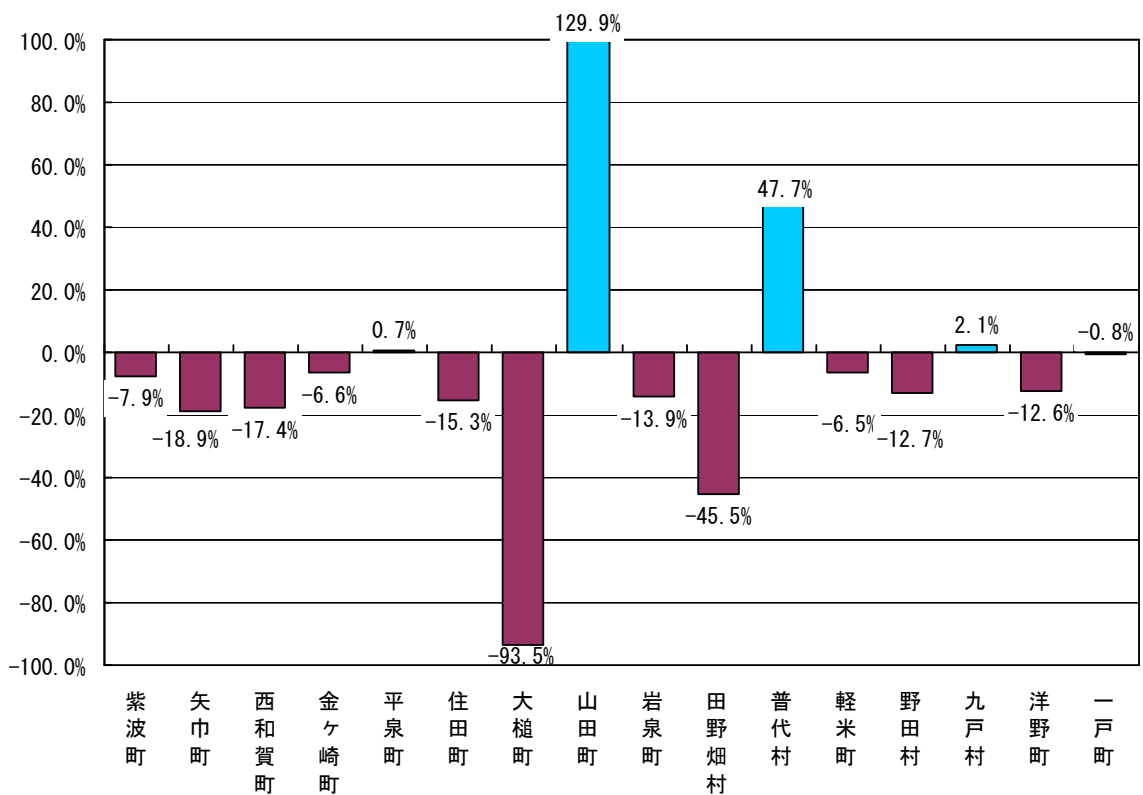


図6-2 市町村別・月別入込客数 平成22年度増減比(2)

### ⑤ 地域別・分類別入込客数

岩手県内の地域別・分類別の入込客数及び割合（延べ人数から算出）は表5及び図7に示すとおりである。

岩手県全体で見ると「温泉・健康」が1,280,897人回と最も多く、県南エリアで最も多い入込割合を占めている。次いで「イベント」の942,917人回である。その他、県南エリアでは「歴史・文化」の入込割合が多く、県北エリアでは「自然」の入込割合が多い。「その他」は道の駅等での入込客が主となっており、沿岸エリアで最も多い入込割合を占めている。

表5 地域別・分類別入込客数

単位：人回

地域区分	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光（買物・食）	その他	行祭事・イベント
県央エリア	174,400	182,547	517,808	315,113	75,493	159,481	352,617
県南エリア	408,748	619,186	557,232	131,849	407,980	27,269	439,100
沿岸エリア	156,855	28,348	79,164	6,981	148,106	183,515	46,000
県北エリア	128,284	27,569	126,693	24,770	119,552	89,943	105,200
総計	868,287	857,650	1,280,897	478,713	751,131	460,208	942,917

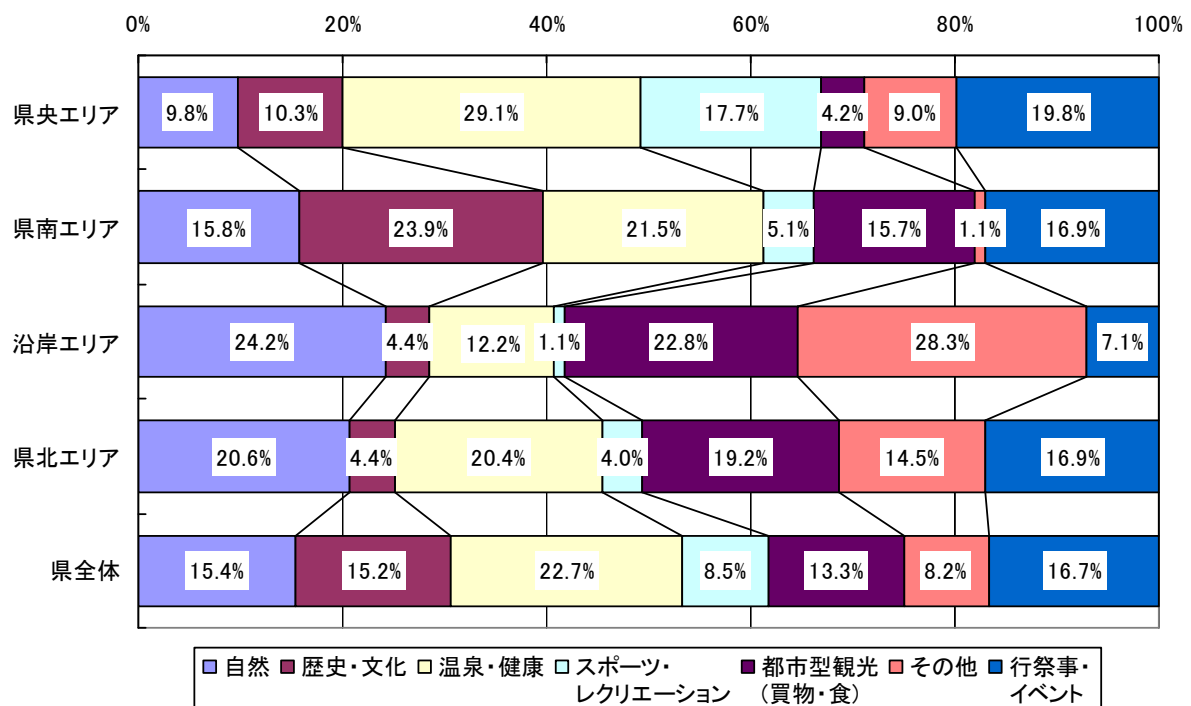


図7 地域別・分野別入込割合（延べ人数から算出）

### (3) 観光入込客数（実人数）

観光入込客数（実人数）は表 6、表 7 及び図 8 に示すとおりである。

なお、この入込客数は実人数であり、観光地点等ごとの重複を除いた数値である。1 人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点等を訪れたとしても 1 人・回と数える。

本県を訪れた観光目的の入込客数は、平成 23 年度比 86.0%、平成 22 年度比 83.8%であった。宿泊及び日帰り別では、宿泊客は、平成 23 年度同期を上回るものの、平成 22 年度比で 92.0%である。日帰り客は平成 22 年度比で 80.5%と未だ 8 割程度の水準にとどまり、平成 23 年度比でも 78.0%と落ち込みを見せている。要因として、震災後の沿岸被災地へのボランティアによる入込がピークを過ぎたことに加え、沿岸地域の観光産業の復興が遅れていることが考えられる。

なお、ビジネス兼観光目的の入込客数は、平成 23 年度比 87.2%、平成 22 年度比 113.5%となった。東日本大震災津波の復旧・復興支援として長期滞在しているビジネスユースの方の観光も概ね一段落したことが考えられる。

表 6-1 日帰り宿泊別・県内県外別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			10-12 期合計
	宿泊計	県外	県内	日帰り計	県外	県内	
観光目的入込客数	691	415	276	1,501	823	678	2,192
平成 23 年度比	110.4%	111.3%	109.1%	78.0%	90.6%	66.7%	86.0%
平成 23 年度 10-12 期合計	626	373	253	1,924	908	1,016	2,550
平成 22 年度比	92.0%	106.7%	76.2%	80.5%	113.0%	59.7%	83.8%
平成 22 年度 10-12 期合計	751	389	362	1,864	728	1,136	2,615
ビジネス兼観光目的入込客数	461	316	145	43	39	4	504
平成 23 年度比	92.4%	87.1%	106.6%	54.4%	278.6%	6.2%	87.2%
平成 23 年度 10-12 期合計	499	363	136	79	14	65	578
平成 22 年度比	124.6%	129.0%	116.0%	58.1%	325.0%	6.5%	113.5%
平成 22 年度 10-12 期合計	370	245	125	74	12	62	444

(注) 入込客数には訪日外国人を含まない。

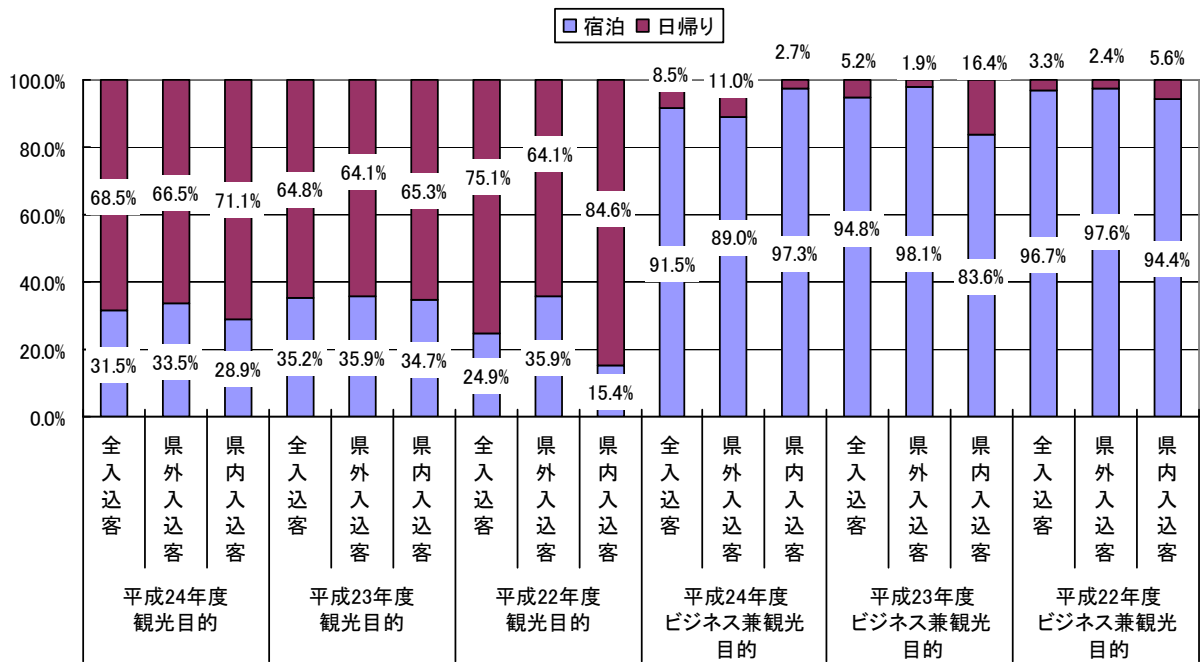


図 8-1 年度別・目的別の宿泊・日帰り割合

表 6-2 県内県外別・日帰り宿泊別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	県外			県内			10-12 期合計
	県外計	宿泊	日帰り	県内計	宿泊	日帰り	
観光目的の入込客数	1,238	415	823	954	276	678	2,192
平成 23 年度比	96.6%	111.3%	90.6%	75.2%	109.1%	66.7%	86.0%
平成 23 年度 10-12 期合計	1,281	373	908	1,269	253	1,016	2,550
平成 22 年度比	110.8%	106.7%	113.0%	63.7%	76.2%	59.7%	83.8%
平成 22 年度 10-12 期合計	1,117	389	728	1,498	362	1,136	2,615
ビジネス兼観光目的の入込客数	355	316	39	149	145	4	504
平成 23 年度比	94.2%	87.1%	278.6%	74.1%	106.6%	6.2%	87.2%
平成 23 年度 10-12 期合計	377	363	14	201	136	65	578
平成 22 年度比	138.1%	129.0%	325.0%	79.7%	116.0%	6.5%	113.5%
平成 22 年度 10-12 期合計	257	245	12	187	125	62	444

(注) 入込客数には訪日外国人を含まない。

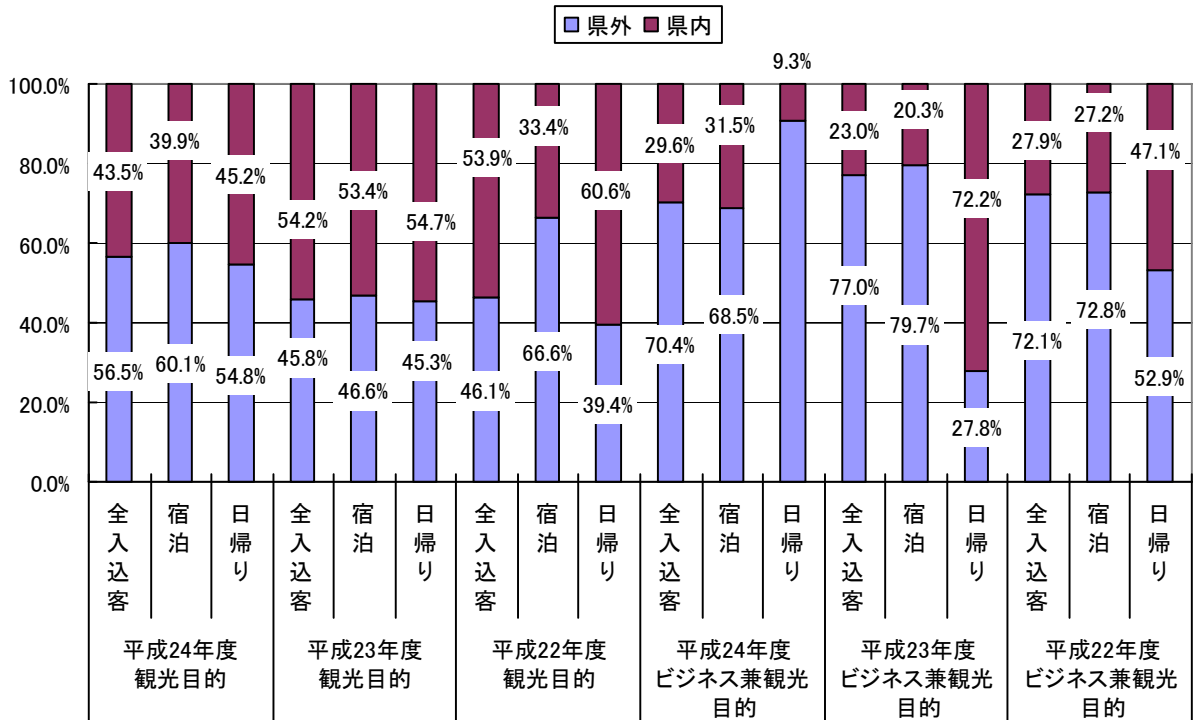


図 8-2 年度別・県内・県外別の宿泊・日帰り割合

また、本県を訪れた訪日外国人入込客数は、平成 23 年度比 1666.7%、平成 22 年度比 185.2%であった。要因としては、東日本大震災津波の風評被害等が改善に向かい、外国人観光客が戻りつつあること、平泉が世界文化遺産に登録されたことなどが考えられる。

表 7 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			10-12 期合計
	宿泊計	観光	ビジネス	日帰り計	観光	ビジネス	
訪日外国人入込客数	7	4	3	43	43	-	50
平成 23 年度比	233.3%	400.0%	150.0%	-	-	-	1666.7%
平成 23 年度 10-12 期合計	3	1	2	-	-	-	3
平成 22 年度比	25.9%	17.4%	75.0%	-	-	-	185.2%
平成 22 年度 10-12 期合計	27	23	4	-	-	-	27

#### (4) 観光消費額

##### ① 観光消費額単価（日帰り宿泊別・県内県外別）

観光消費額単価は表 8、表 9 及び図 9 に示すとおりである。

なお、単位の「円／人・回」は、観光入込客 1 人の 1 回の旅行における観光消費額を指す。

観光目的の宿泊客の観光消費額単価は、県内客では、平成 23 年度比 104.5%、平成 22 年度比 104.4%、県外客では、平成 23 年度比 100.8%、平成 22 年度比 117.7%である。県内客、県外客ともに平成 22 年度、平成 23 年度を超えており、宿泊目的の観光消費額単価は増加傾向にある。

また、日帰り客の観光消費額単価は、県内客では、平成 23 年度比 60.1%、平成 22 年度比 125.9%、県外客では、平成 23 年度比 95.0%、平成 22 年度比 111.3%である。県内客、県外客ともに平成 22 年度よりは増加しているが、震災直後の平成 23 年度比より減少しており、特に県内日帰りの減少が著しい。

なお、ビジネス兼観光目的の観光消費額単価は、サンプル数が少なく 1 回答者の金額の影響が大きいことから、時系列での比較が難しい状況となっているが、平成 23 年度からの県外・宿泊の落ち込みの要因としては、東日本大震災津波の復旧・復興支援として長期滞在しているビジネスユースの方の観光も概ね一段落したことが考えられる。

表 8 日帰り宿泊別・県内県外別・観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	県外	県内	県外	県内
観光目的 観光消費額単価	28,614	16,206	6,667	3,909
平成 23 年度比	100.8%	104.5%	95.0%	60.1%
平成 23 年度 10-12 期観光消費額単価	28,393	15,510	7,019	6,506
平成 22 年度比	117.7%	104.4%	111.3%	125.9%
平成 22 年度 10-12 期観光消費額単価	24,320	15,521	5,989	3,105
ビジネス兼観光目的 観光消費額単価	36,159	15,500	4,393	2,768
平成 23 年度比	76.0%	-	110.7%	219.5%
平成 23 年度 10-12 期観光消費額単価	47,557	-	3,967	1,261
平成 22 年度比	83.8%	64.6%	44.2%	47.0%
平成 22 年度 10-12 期観光消費額単価	43,136	24,000	9,947	5,892

(注) 観光消費額単価には訪日外国人を含まない。



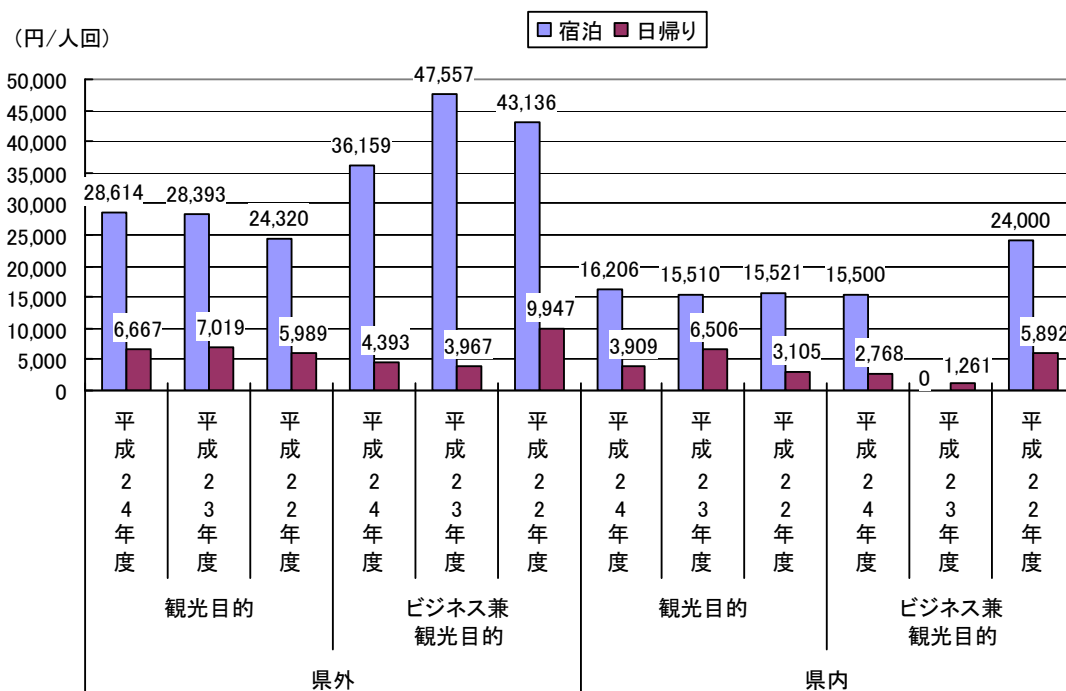


図9 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額単価

日帰り宿泊別・観光ビジネス別訪日外国人観光消費額単価は表9に示すとおりである。  
 観光消費額単価は、パラメータ調査での値であることから、訪日外国人観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1回答者の金額の影響が大きく、時系列での比較が難しいことを付け加える。

表9 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額単価

単位：円/人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	観光	ビジネス	観光	ビジネス
訪日外国人 観光消費額単価	54,510	70,599	8,884	8,172
平成23年度比	122.6%	92.1%	128.6%	97.6%
平成23年度10-12期 消費額単価	44,461	76,685	6,908	8,375
平成22年度比	123.7%	57.4%	109.6%	100.8%
平成22年度10-12期 消費額単価	44,060	122,981	8,109	8,109

## ② 観光消費額（日帰り宿泊別・県内県外別）

日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額は表 10 及び図 10 に示すとおりである。

観光目的の観光消費額の総額は、平成 23 年度比 89.1%、平成 22 年度比 106.6%である。

日帰り・宿泊別の平成 23 年度比では、宿泊は平成 22 年度比、平成 23 年度比で 100%を超え、観光消費額が改善傾向にある一方、日帰りでは平成 22 年度比で 103.2%に対し、平成 23 年度比では 62.7%と 6 割程度と減少が著しい。

一方、ビジネス兼観光目的の観光消費額の総額は、平成 23 年度比で 79.6%、平成 22 年度比で 98.6%となっている。平成 23 年度からの落ち込みの要因としては、東日本大震災津波の復旧・復興支援として長期滞在しているビジネスユースの方の観光も概ね一段落したことが考えられる。

表 10 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊 総数	県外	県内	日帰り 総数	県外	県内	
観光目的 観光消費額	16,346	11,868	4,478	8,141	5,490	2,651	24,487
平成 23 年度比	112.7%	112.2%	114.2%	62.7%	86.2%	40.1%	89.1%
平成 23 年度 10-12 期 観光消費額	14,501	10,580	3,921	12,980	6,371	6,609	27,481
平成 22 年度比	108.3%	125.3%	79.7%	103.2%	126.0%	75.1%	106.6%
平成 22 年度 10-12 期 観光消費額	15,090	9,471	5,619	7,886	4,358	3,528	22,976
ビジネス兼 観光目的観光消費額	13,673	11,425	2,248	185	174	11	13,858
平成 23 年度比	79.2%	66.1%	-	134.1%	310.7%	13.4%	79.6%
平成 23 年度 10-12 期 観光消費額	17,272	17,272	-	138	56	82	17,410
平成 22 年度比	100.7%	108.1%	74.7%	38.3%	146.2%	3.0%	98.6%
平成 22 年度 10-12 期 観光消費額	13,574	10,565	3,009	483	119	364	14,057

(注) 観光消費額には訪日外国人を含まない。

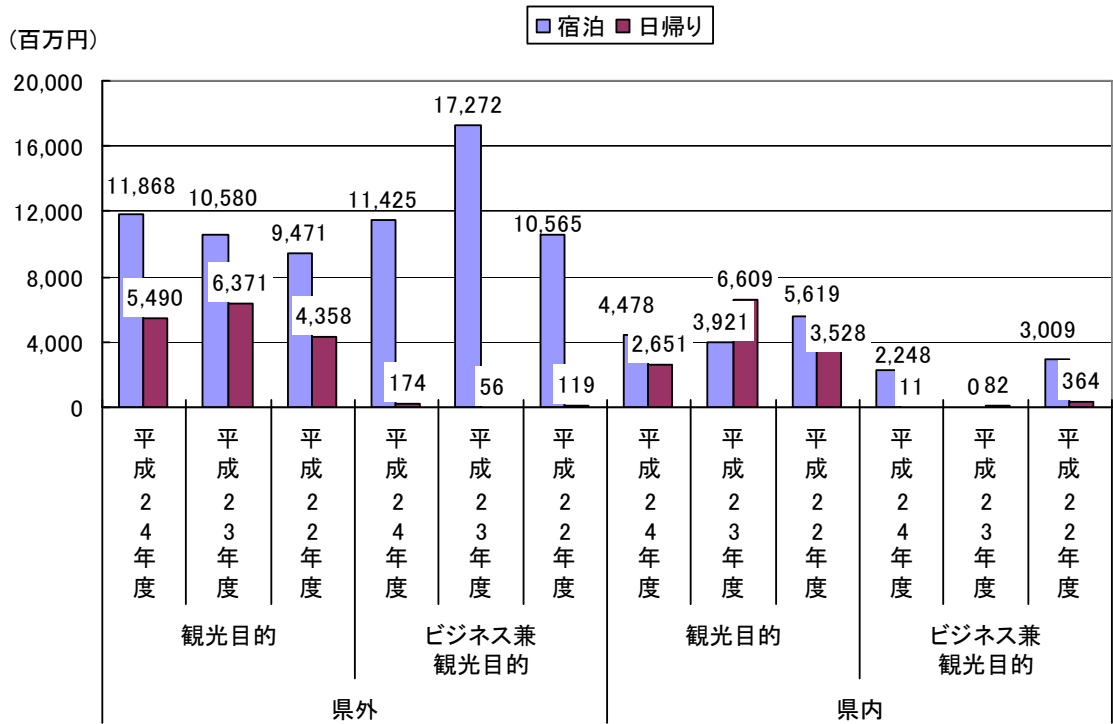


図 10 日帰り宿泊別・県内県外観光消費額

日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額は表 11 に示すとおりである。

訪日外国人の観光消費額の総額は、平成 23 年度比 373.2%、平成 22 年度比 53.9%である。また、宿泊の観光目的では、平成 23 年度比 337.2%、平成 22 年度比 19.6%であり、震災直後の平成 23 年度からは改善傾向にある。

一方、この観光消費額は、表 9 で示した観光消費額単価に、表 7 に示した入込客数を掛け合わせた金額であることから、訪日外国人のようなサンプル数が少ない数値については、時系列での比較が難しいことを付け加える。

表 11 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊総額	観光	ビジネス	日帰り総額	観光	ビジネス	
訪日外国人 観光消費額	412	200	212	383	383	-	795
平成 23 年度比	193.6%	337.2%	138.1%	-	-	-	373.2%
平成 23 年度 10-12 期 観光消費額	213	59	153	-	-	-	213
平成 22 年度比	27.9%	19.6%	46.9%	-	-	-	53.9%
平成 22 年度 10-12 期 観光消費額	1,474	1,022	452	-	-	-	1,474

## 第2部 観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

### 1. 調査概要

今回実施した観光地点を対象としたアンケート調査の概要は以下のとおりである。

[調査実施時期] 平成24年11月

[調査地点] 下記のとおり、岩手県内の観光地点10ヶ所で実施

[調査内容] 観光の目的、訪問（予定）観光地点、交通手段、滞在日数、旅行予算など観光に係る項目

[調査票回収件数] 681件

調査地点別の回収件数、旅行人数は以下のとおりである。

表 12 アンケート調査票件数、旅行人数（調査地点別）

調査地点	調査実施時期				
	市町村名	地域名	調査実施日	調査票回収件数	旅行人数 (本人含む)
小岩井農場	雫石町	県央地域	11/17	65	353
盛岡手づくり村	盛岡市	県央地域	11/11	57	380
道の駅にしね	八幡平市	県央地域	11/18	61	174
平泉（中尊寺）	平泉町	県南地域	11/10	78	485
道の駅遠野風の丘	遠野市	県南地域	11/17	75	317
宮沢賢治記念館	花巻市	県南地域	11/11	41	338
道の駅くじ「やませ土風館」	久慈市	県北地域	11/23,11/24	87	364
なにやーと物産センター	二戸市	県北地域	11/24,11/25	91	392
浄土ヶ浜	宮古市	沿岸地域	11/10	78	433
碁石海岸	大船渡市	沿岸地域	11/17,11/18	48	345
合計				681	3,581

今回実施したアンケート調査結果を集計した結果について、次項以降において説明する。

## 2. 観光客の動向分析

### (1) 問1 住まいの地域

問1は、来訪者の住まいの地域に関する設問である。問1の結果を集計しグラフ化したものが、図11である。

この結果、アンケート調査回答者の4割弱（38.8%）は岩手県内からの来訪者であり、岩手県外からの来訪者は約6割強（61.2%）である。海外からの来訪者は2人（0.5%）であった。

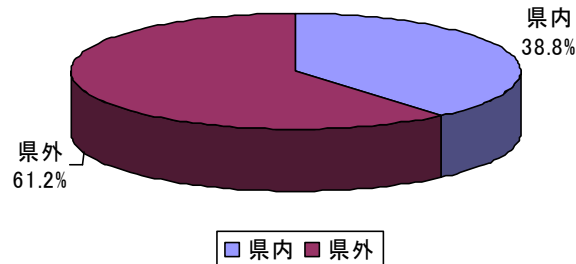


図11 地域別・分類別入込割合（延べ人数から算出）

岩手県外からの来訪者について都道府県別に旅行人数を集計し、グラフ化したものが図12である。県外客で最も人数が多いのは宮城県（22.1%）、次いで青森県（15.3%）、東京都（13.4%）であり、これらの3都県で約5割（50.8%）を占めている。

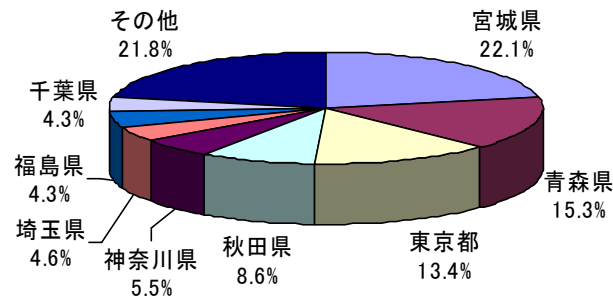


図12 県外客の住まいの地域（岩手県及び来訪者0人の都道府県を除く）

表13 各県当たり観光客数および比率（岩手県及び来訪者0人の県を除く）

宮城県	青森県	東京都	秋田県	神奈川県	埼玉県	福島県	千葉県
22.1%	15.3%	13.4%	8.6%	5.5%	4.6%	4.3%	4.3%
92人	64人	56人	36人	23人	19人	18人	18人
茨城県	山形県	愛知県	栃木県	群馬県	新潟県	北海道	大阪府
3.4%	2.4%	2.4%	2.2%	1.7%	1.7%	1.4%	1.0%
14人	10人	10人	9人	7人	7人	6人	4人
静岡県	三重県	長野県	岐阜県	兵庫県	宮崎県	海外	山梨県
0.7%	0.7%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.2%
3人	3人	2人	2人	2人	2人	2人	1人
京都府	岡山県	愛媛県	福岡県	熊本県	鹿児島県	沖縄県	
0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	
1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	

## (2) 問2 性別・年代

問2は、来訪者の性別、年代に関する設問である。

性別を集計しグラフ化したのが図13である。この図より、性別の構成をみると男性が6割近くを占めている(57.4%)状況であった。

また、年代構成を集計しグラフ化したのが図14である。この図より、合計、岩手県外来訪者では、「60歳代」、岩手県内来訪者では「30歳代」が最も多いことがわかる。また、岩手県内、岩手県外来訪者のいずれも、50歳代以上が全来訪者の半数以上となった。(岩手県内：50.1%、岩手県外：54.7%)

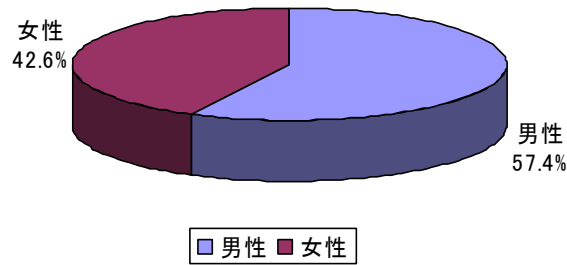


図13 来訪者の性別

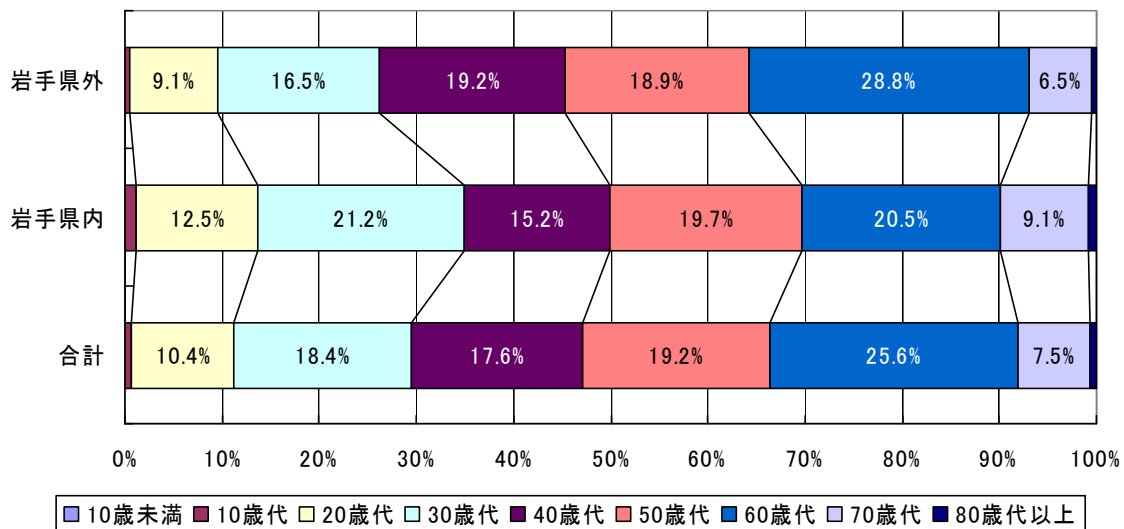


図14 岩手県内/外来訪者の年代構成(比率)

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
合計	0.0%	0.7%	10.4%	18.4%	17.6%	19.2%	25.6%	7.5%	0.6%
岩手県内	0.0%	1.1%	12.5%	21.2%	15.2%	19.7%	20.5%	9.1%	0.8%
岩手県外	0.0%	0.5%	9.1%	16.5%	19.2%	18.9%	28.8%	6.5%	0.5%

### (3) 問3 宿泊形態および宿泊数

問3は、旅行の日帰り・宿泊の区分、および県内の宿泊に関する設問である。本設問の回答結果を日帰り、宿泊の区分別に集計シグラフ化したのが図15である。

来訪者の宿泊形態は宿泊が半分強（52.9%）を占めていた。

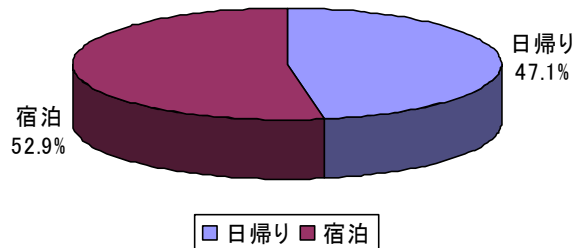


図15 来訪者の宿泊形態

来訪者の全日程及び岩手県内における宿泊日数を集計シグラフ化したのが図16、17である。宿泊客全体（県外宿泊も含む）の宿泊日数は「1日」が最も多く、全体の6割以上（64.6%）を占めている。なお、岩手県内宿泊数では、宿泊日数「1日」の割合が約7割であった。（73.4%）

※宿泊数平均 1.8(泊) 県内宿泊数平均 1.7(泊)

また、利用した岩手県内の宿泊施設の種類数を集計シグラフ化したのが図18である。

この図より、岩手県内の宿泊者の9割以上（93.8%）は、宿泊施設の種類数は「1種類」であった。

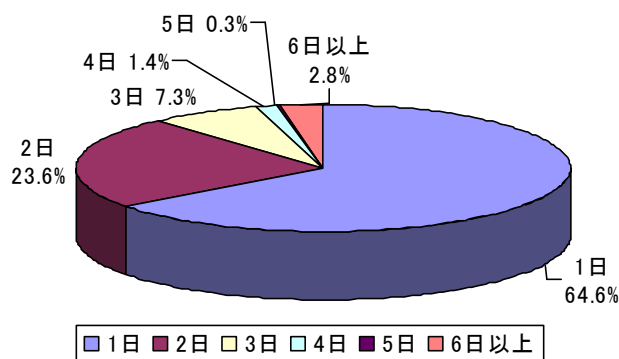


図16 宿泊数（全日程）

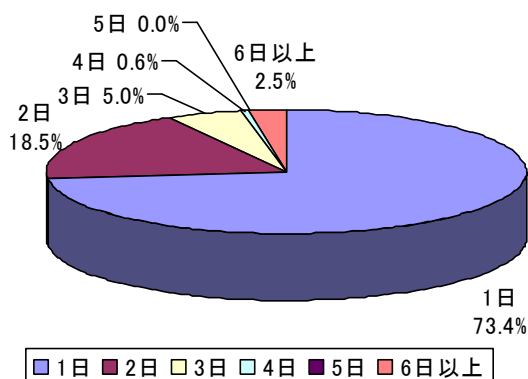


図17 岩手県内宿泊数

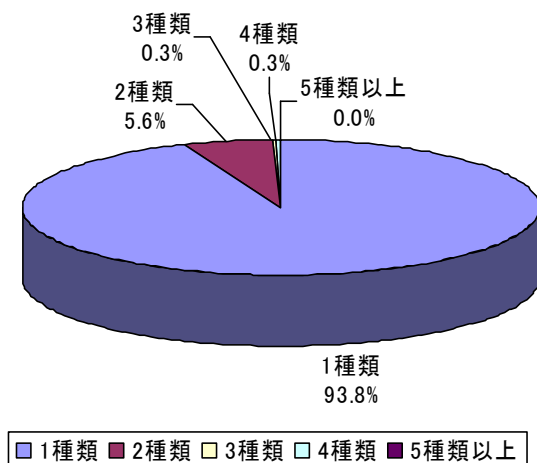


図 18 岩手県内宿泊施設数

利用した県内の宿泊施設の種類を集計しグラフ化したのが図 19 である。県内宿泊者が利用する宿泊施設の種類は「ホテル」(53.4%) が最も多く、次いで「旅館」(22.4%) である。次いで、「実家や知人・親戚宅」(13.3%) であり、これら以外の宿泊施設利用は全て 5% 台以下であった。

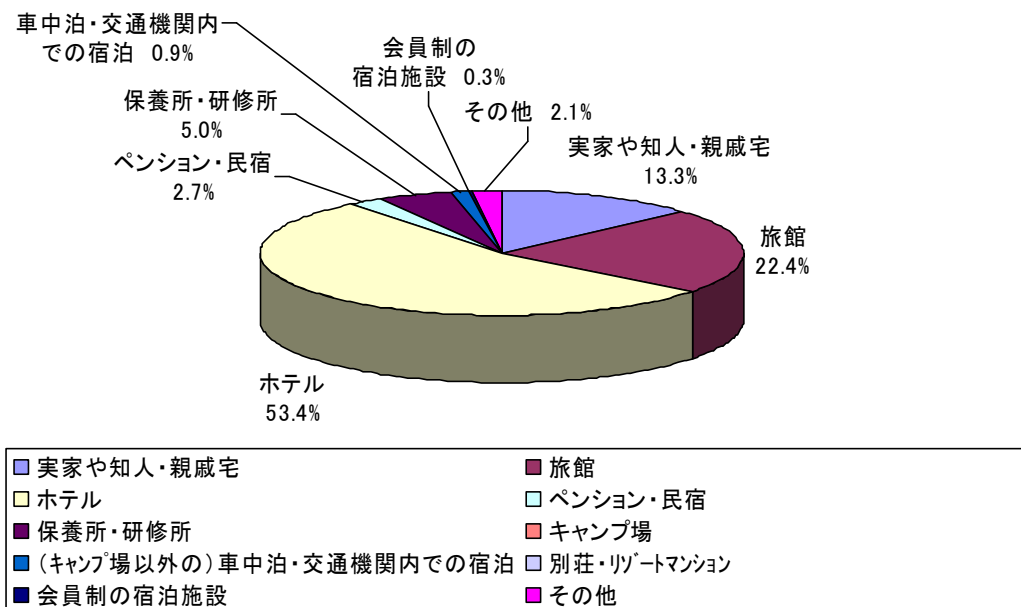


図 19 宿泊施設の種類

表 14 宿泊施設の内訳 (人・種)

実家や知人・親戚宅	旅館	ホテル	ペンション・民宿	保養所・研修所	キャンプ場
13.3%	22.4%	53.4%	2.7%	5.0%	0.0%
45 人・種	76 人・種	181 人・種	9 人・種	17 人・種	0 人・種
(キャンプ場以外の) 車中泊・交通機関内 での宿泊	別荘・リゾートマンション	会員制の 宿泊施設	その他	合計	
0.9%	0.0%	0.3%	2.1%	100.0%	
3 人・種	0 人・種	1 人・種	7 人・種	339 人・種	



#### (4) 問4 訪問の目的

問4は、訪問の目的に関する設問である。

本設問の結果を集計しグラフ化したのが図 20 である。訪問の目的は「観光」が7割以上を占めており(72.5%)、次いで「帰省・知人訪問」(9.0%)であり、この2項目で約8割(81.5%)を占めている。

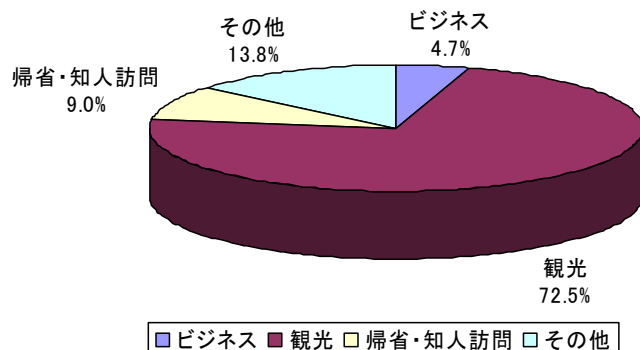


図 20 訪問の目的

#### (5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ

問5は、旅行人数および同行者のタイプに関する設問である。

「旅行人数」別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図 21 である。旅行人数が最も多かったのは「2人」(33.9%)であり、次いで「3人」(17.3%)、「4人」(16.0%)であった。

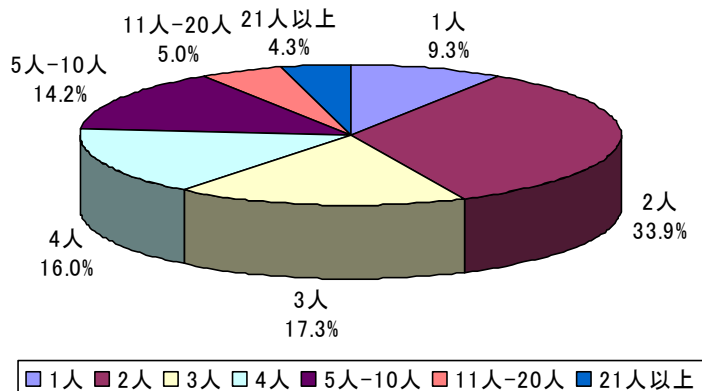


図21 旅行人数

同行者のタイプ別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図 22 である。同行者のタイプとして最も多いのは「家族」(64.8%)で、回答者全体の1/3近くを占めた。次いで「友人」(18.0%)、「職場・学校等の団体旅行」(9.6%)などである。

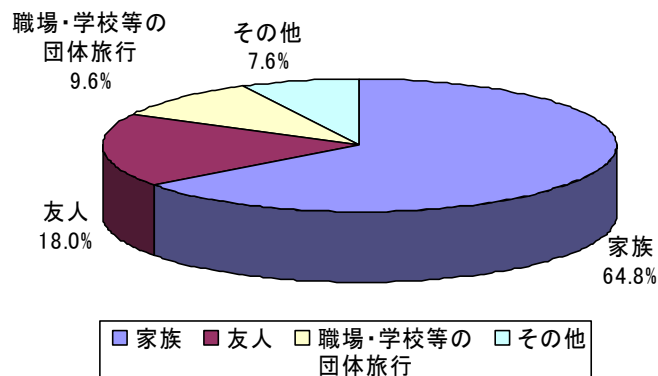


図22 同行者のタイプ

### (6) 問6 観光地訪問の認知、回数

問6、7は、岩手県内観光地への訪問経験の認知及び、県外からの来訪者に対する岩手県訪問の認知及び回数に関する設問である。

調査地点とした観光地への訪問の認知度については、全来訪者のうち9割以上（92.4%）が「知っている」と回答した。

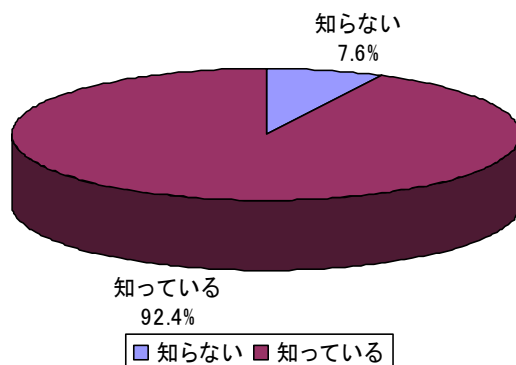


図23 観光地訪問の認知

### (7) 問7 岩手県訪問の認知、回数（岩手県外の方のみ対象の設問）

問7は岩手県外からの来訪者を対象にした、岩手県への訪問の認知及び回数に関する設問である。

岩手県への訪問の認知を質問したところ、9割近く（89.4%）の来訪者が「知っている」と回答した。

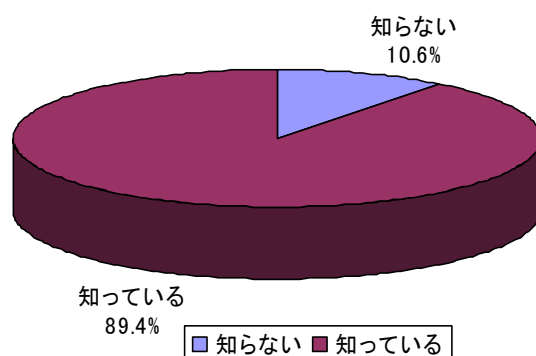


図24 岩手県訪問の認知（岩手県外来訪者）

(8) 問8 観光地への交通機関

問8は、岩手県への来県や観光地への訪問で利用した交通機関、および訪問やその予定のある岩手県内観光地やその他立ち寄り都道府県に関する設問である。

調査地点である観光地へ来訪する際に利用した交通機関を集計しグラフ化したものが図25である。この図より、最も多く利用されているのが「自家用車、社用・公用車」(70.0%)であり、次いで「JR新幹線」(16.2%)、「貸切バス・観光バス」(4.7%)であった。この上位3位で全体の約9割(90.9%)を占めている。

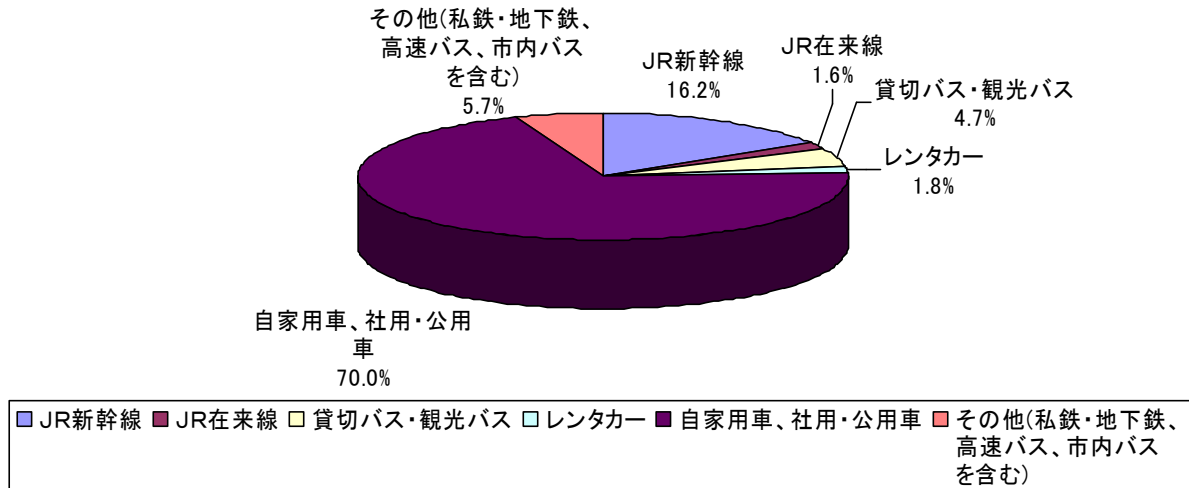


図25 観光地点への交通機関

表15 観光地点への交通機関内訳 (比率)

JR新幹線	JR在来線	私鉄・地下鉄	モノレール	貸切バス・観光バス	高速バス
16.2%	1.6%	0.3%	0.0%	4.7%	0.7%
市内バス	市内電車	タクシー・ハイヤー	レンタカー	自家用車、社用・公用車	その他
0.4%	0.0%	0.0%	1.8%	70.0%	4.3%

(9) 問9 今回の旅行費用について

問9は、今回の旅行費用に関する設問である。

1人当たりの岩手県内における交通費を集計しグラフ化したものが図26、27であり、岩手県外における交通費を集計したグラフが図28、29である。

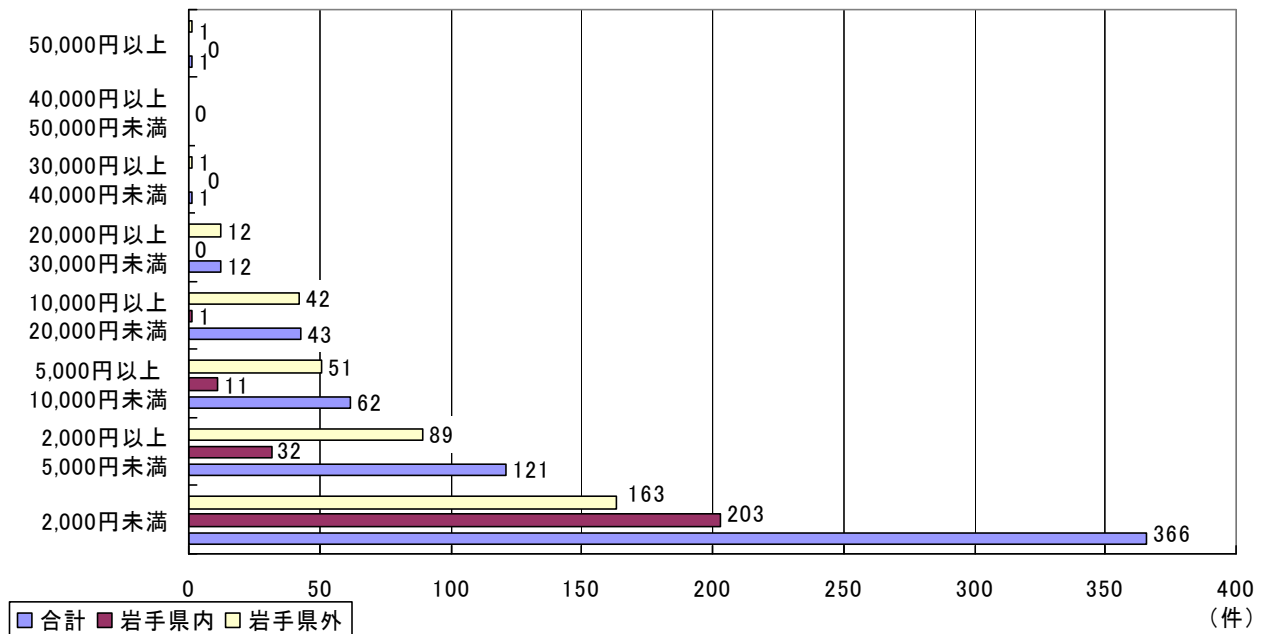


図26 岩手県内/外旅行費用の比較 (岩手県内交通費・件数)

岩手県内の交通費においては、来訪者全体の約6割(60.4%)が「2,000円未満」となっているが、県内の来訪者がこの価格帯の8割近く(82.2%)を占めているのに対し、県外の来訪者は約半数(45.4%)にとどまり、残りの半数以上(54.6%)は2,000円以上を支出している。また県外客は2,000円以上20,000円未満の価格帯で50.7%の支出を行っている。

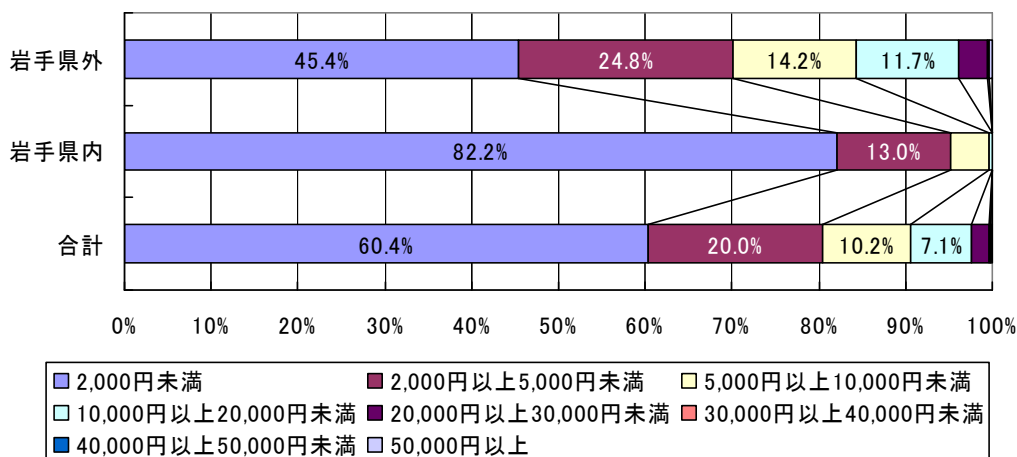


図27 岩手県内/外旅行費用の比較 (岩手県内交通費・比率)

	2,000円未満	2,000円以上5,000円未満	5,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上30,000円未満	30,000円以上40,000円未満	40,000円以上50,000円未満	50,000円以上
合計	60.4%	20.0%	10.2%	7.1%	2.0%	0.2%	0.0%	0.2%
岩手県内	82.2%	13.0%	4.5%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	45.4%	24.8%	14.2%	11.7%	3.3%	0.3%	0.0%	0.3%

岩手県外の交通費においては、来訪者全体の半数強（58.7%）が「1,000円未満」となっている。その内訳をみると、県内の来訪者が9割以上（98.9%）あるものの、県外の来訪者は3割程度（33.3%）にとどまっている。県内の来訪者の多くが岩手県内のみの旅程であることが伺える。

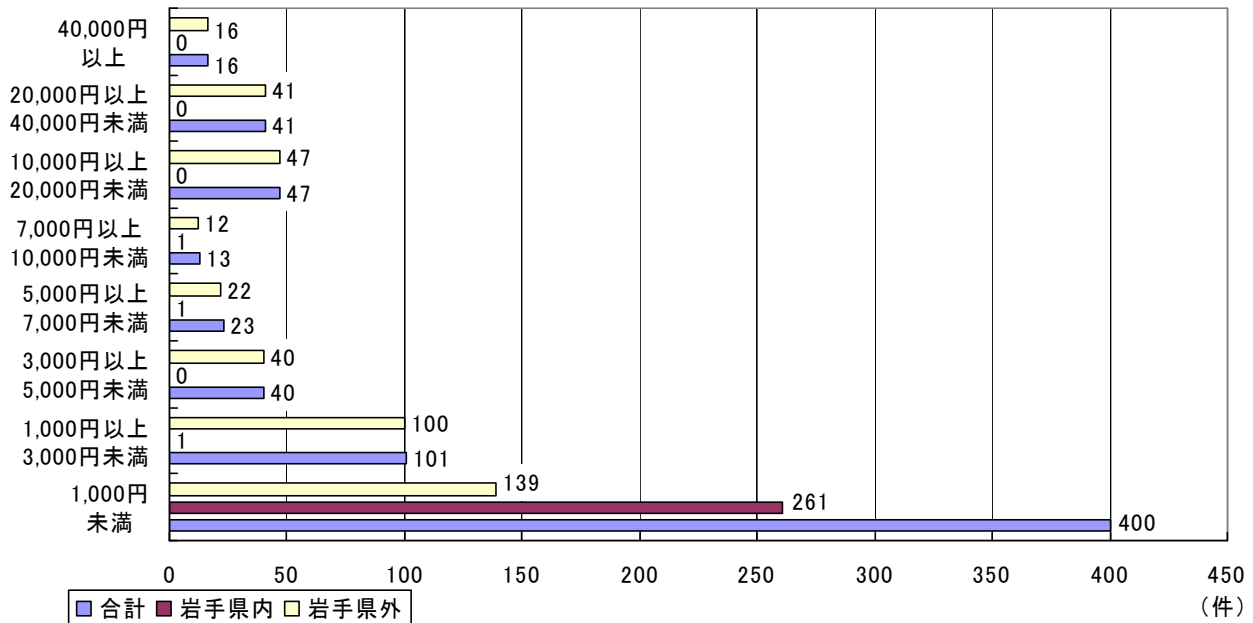


図28 岩手県内／外交通費比較（岩手県外・件数）

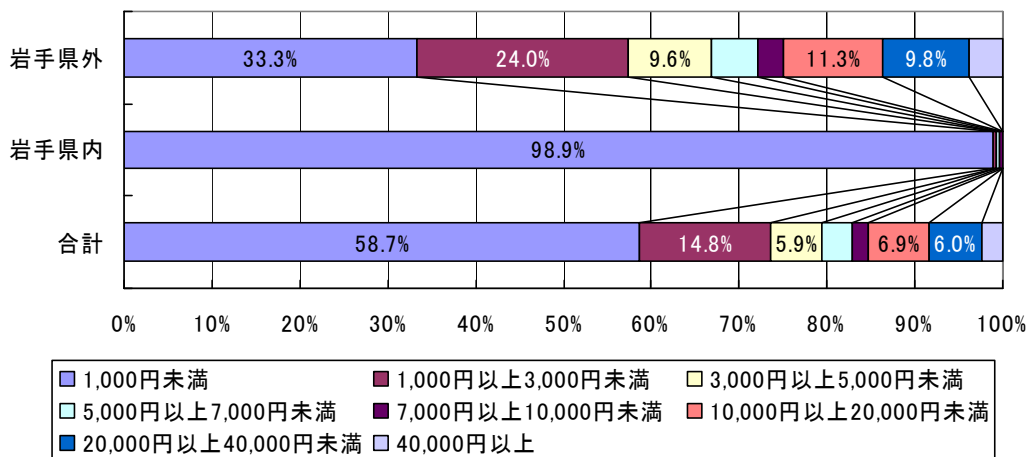


図29 岩手県内／外交通費比較（岩手県外・比率）

	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	58.7%	14.8%	5.9%	3.4%	1.9%	6.9%	6.0%	2.3%
岩手県内	98.9%	0.4%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	33.3%	24.0%	9.6%	5.3%	2.9%	11.3%	9.8%	3.8%

本設問より、1人当たりの岩手県内における宿泊費を集計しグラフ化したものが図30、31である。宿泊費を県内・県外の来訪者別に比較すると、双方とも「1,000円未満」が最も多い。これは全来訪者のうち日帰りの割合が半数近く（47.1%）を占めていることに所以する。

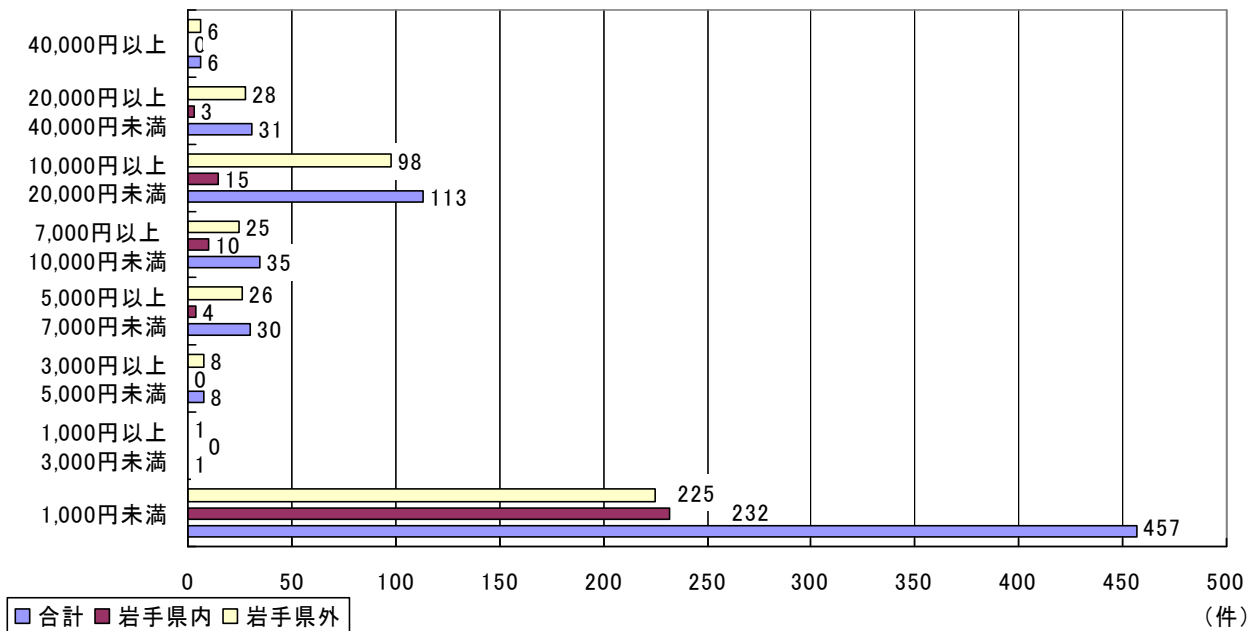
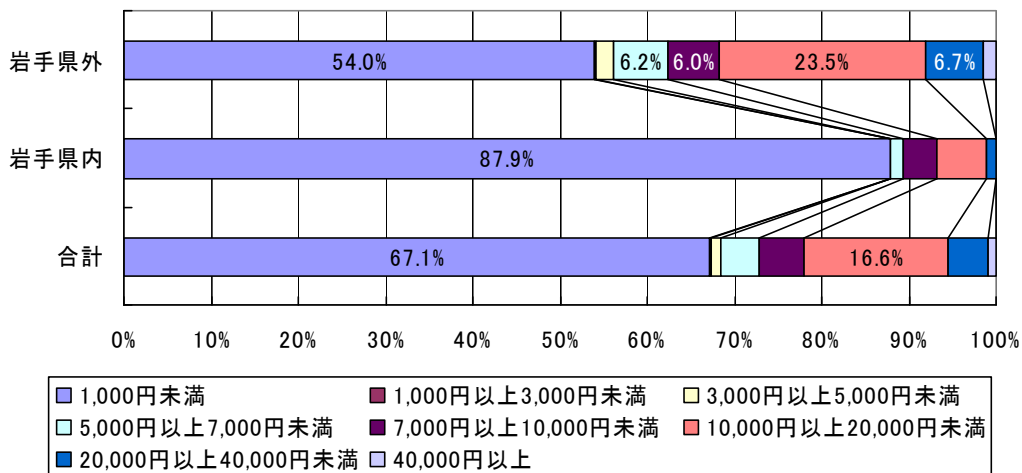


図30 岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	67.1%	0.1%	1.2%	4.4%	5.1%	16.6%	4.6%	0.9%
岩手県内	87.9%	0.0%	0.0%	1.5%	3.8%	5.7%	1.1%	0.0%
岩手県外	54.0%	0.2%	1.9%	6.2%	6.0%	23.5%	6.7%	1.4%

図31 岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・比率）

図30、図31で用いたデータより、日帰り来訪者及びパックツアー利用者を除外して再集計しグラフ化したものが、図30-1、図31-1である。

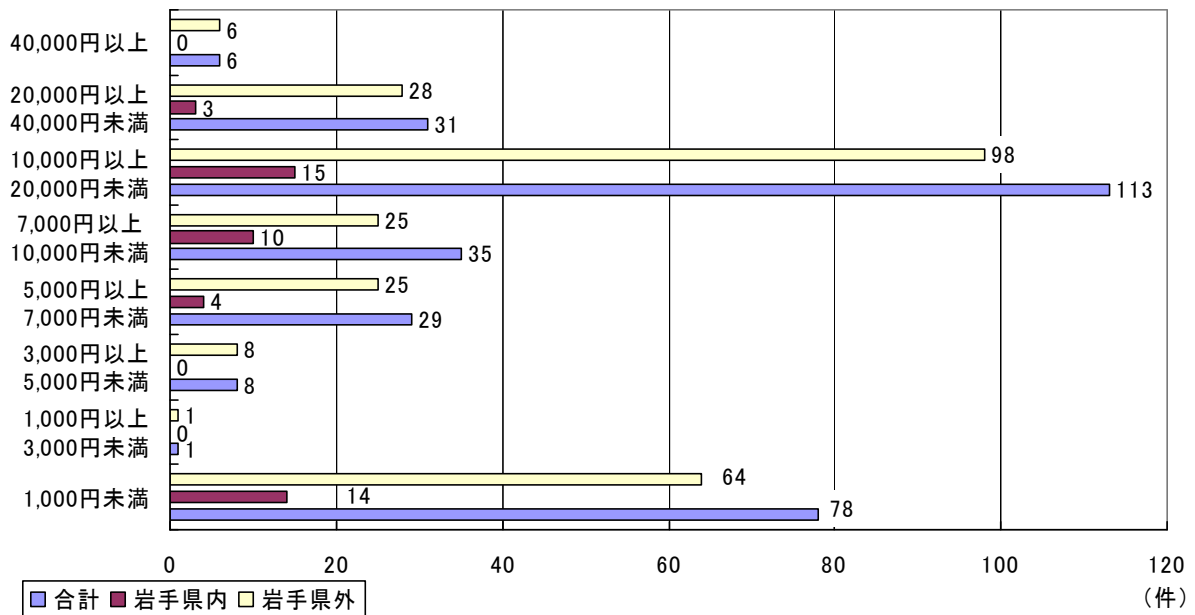
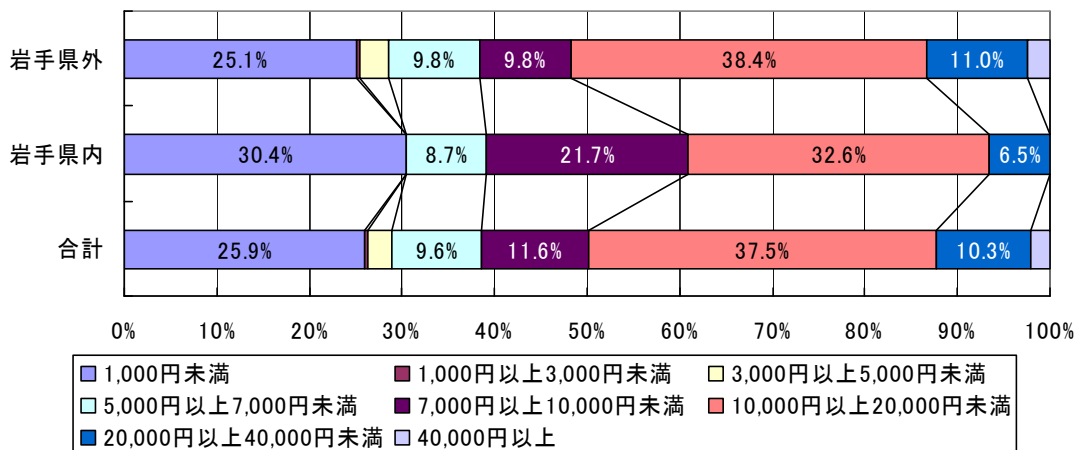


図30-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・件数 パックツアー利用者を除く宿泊者のみ)

件数では「1,000円未満」と「10,000円以上20,000円未満」の2つのピークがあり、合計では前者が25.9%、後者が37.5%であった。前者に関しては、宿泊施設の選択肢「実家や知人・親戚宅利用」の13.3%が影響しているものと思われる。



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	25.9%	0.3%	2.7%	9.6%	11.6%	37.5%	10.3%	2.0%
岩手県内	30.4%	0.0%	0.0%	8.7%	21.7%	32.6%	6.5%	0.0%
岩手県外	25.1%	0.4%	3.1%	9.8%	9.8%	38.4%	11.0%	2.4%

図31-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・比率 パックツアー利用者を除く宿泊者のみ)

本設問より、1人当たりの土産代を集計しグラフ化したのが図32、33である。

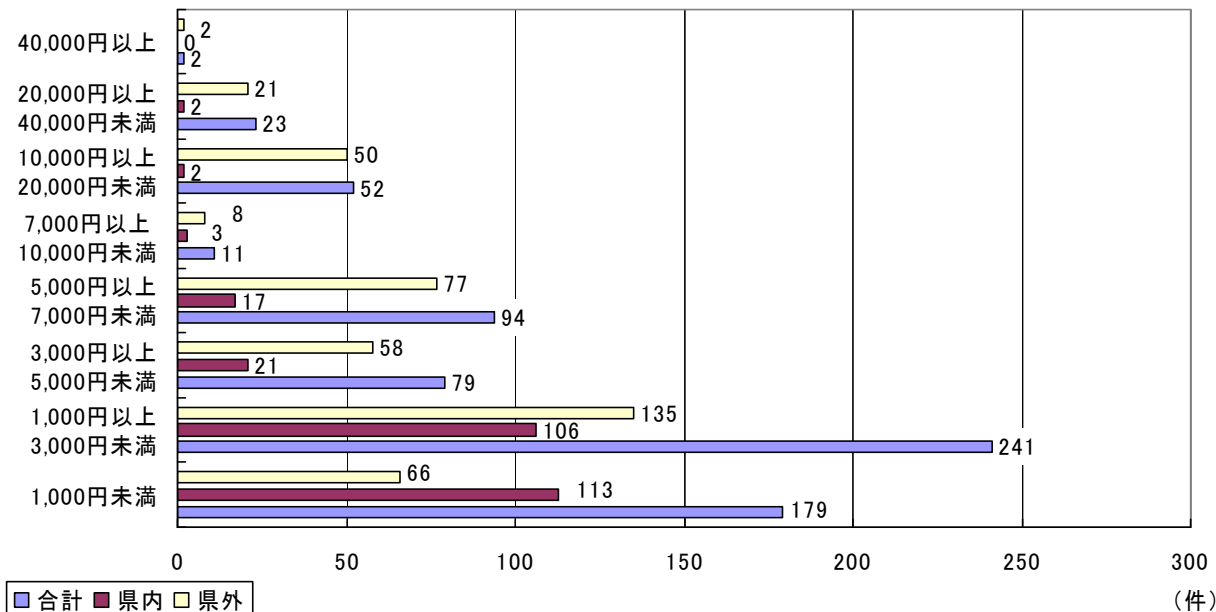


図32 岩手県内/外旅行費用の比較 (土産代・件数)

この図より、1人当たりの土産代は、合計では「1,000円以上 3,000円未満」が35.4%と最も多い。また岩手県内/外別で見ると、岩手県内来訪者が3,000円未満までの価格帯で83.0%の出費を締めているのに対し、同価格帯で県外来訪者は48.2%にとどまっており、土産代で県外来訪者が多く出費していることが伺える。

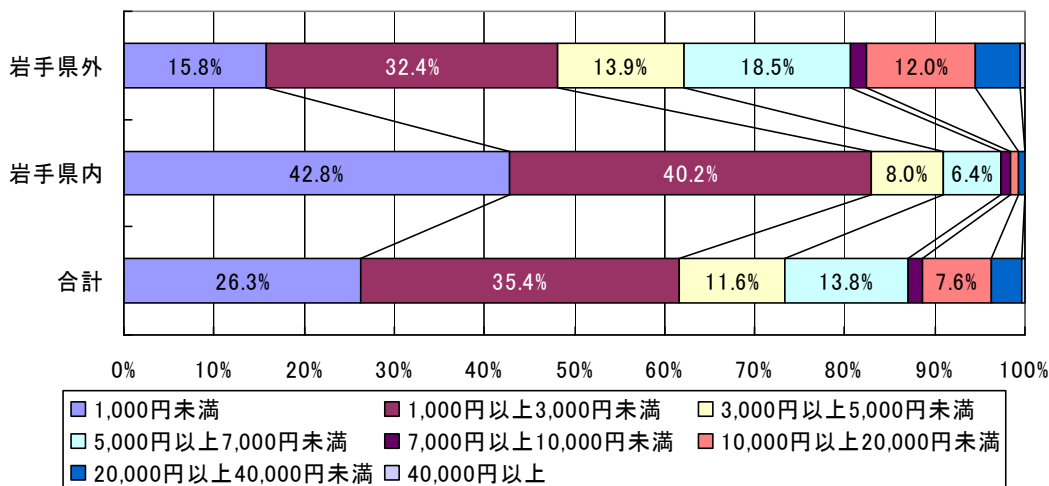


図33 岩手県内/外旅行費用の比較 (土産代・比率)

	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	26.3%	35.4%	11.6%	13.8%	1.6%	7.6%	3.4%	0.3%
岩手県内	42.8%	40.2%	8.0%	6.4%	1.1%	0.8%	0.8%	0.0%
岩手県外	15.8%	32.4%	13.9%	18.5%	1.9%	12.0%	5.0%	0.5%



本設問より、1人当たりの飲食費をグラフ化したものが図34、35である。

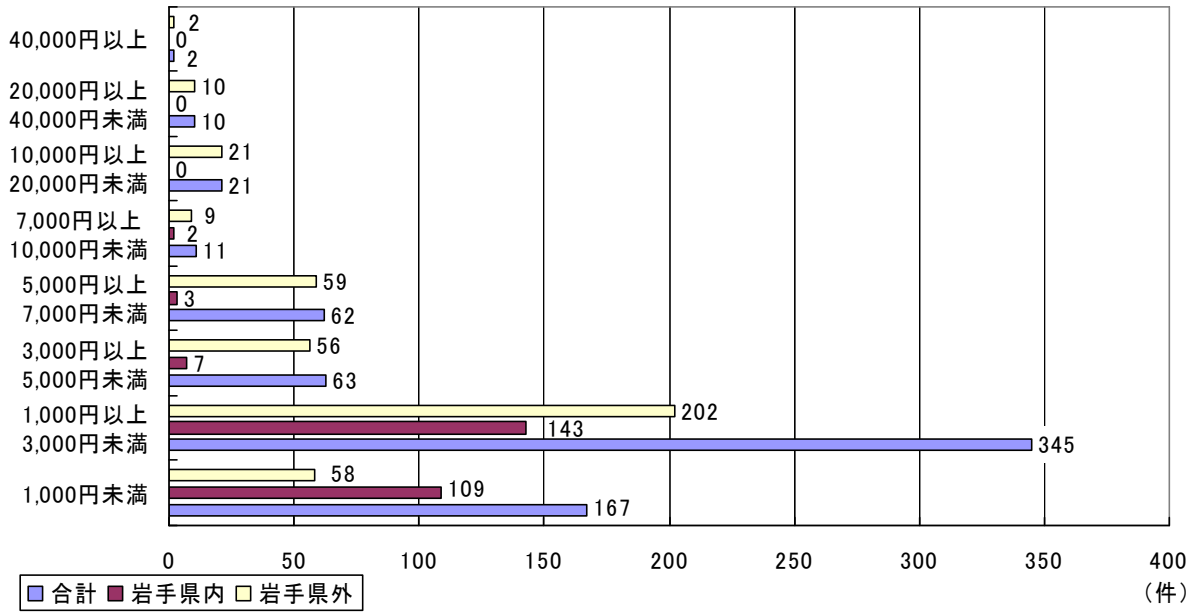
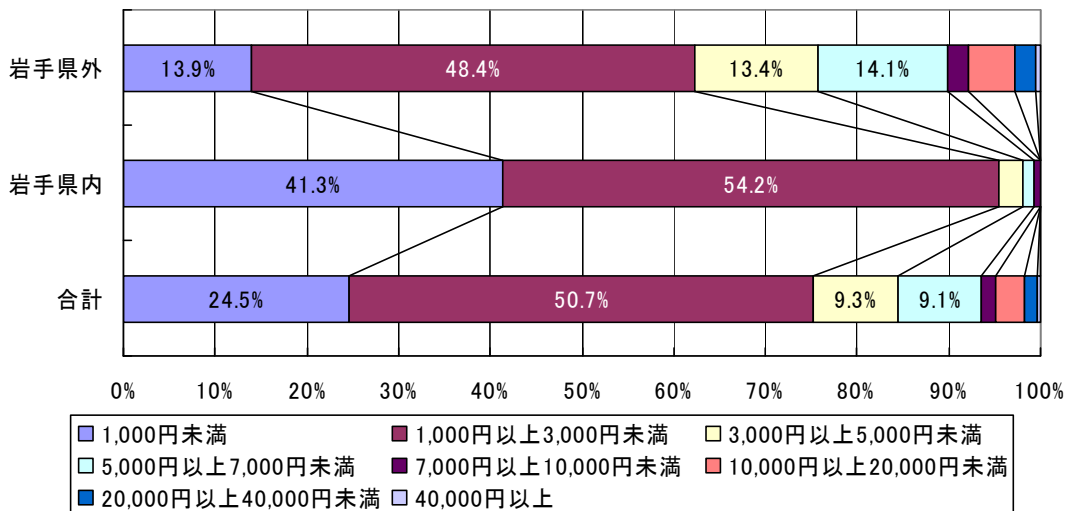


図34 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・件数）

この図より1人当たりの飲食費は、合計では「1,000円以上 3,000円未満」が50.7%と最も多い。岩手県内／岩手県外の来訪者別で見ると、岩手県内来訪者では3,000円未満がほぼ支出の上限（95.5%）であるのに対し、岩手県外来訪者では3,000円以上7,000円未満も、計27.5%を占めており、支出の上限は県内来訪者の約2倍程度である。



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	24.5%	50.7%	9.3%	9.1%	1.6%	3.1%	1.5%	0.3%
岩手県内	41.3%	54.2%	2.7%	1.1%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	13.9%	48.4%	13.4%	14.1%	2.2%	5.0%	2.4%	0.5%

図35 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・比率）

本設問の結果、1人当たりの入場料を集計しグラフ化したのが図36、37である。

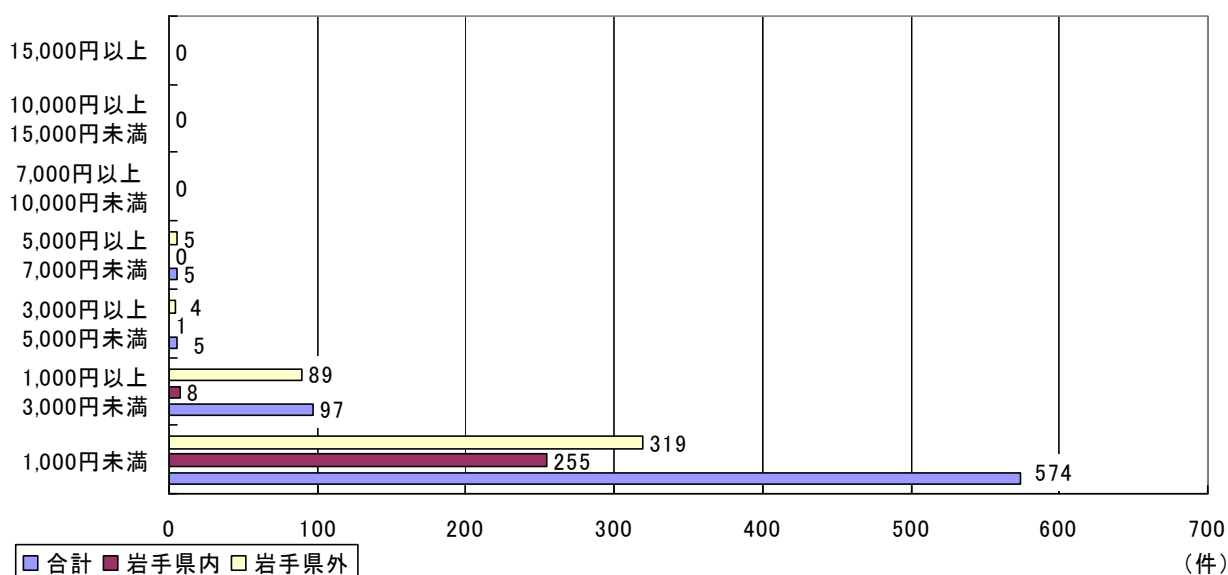
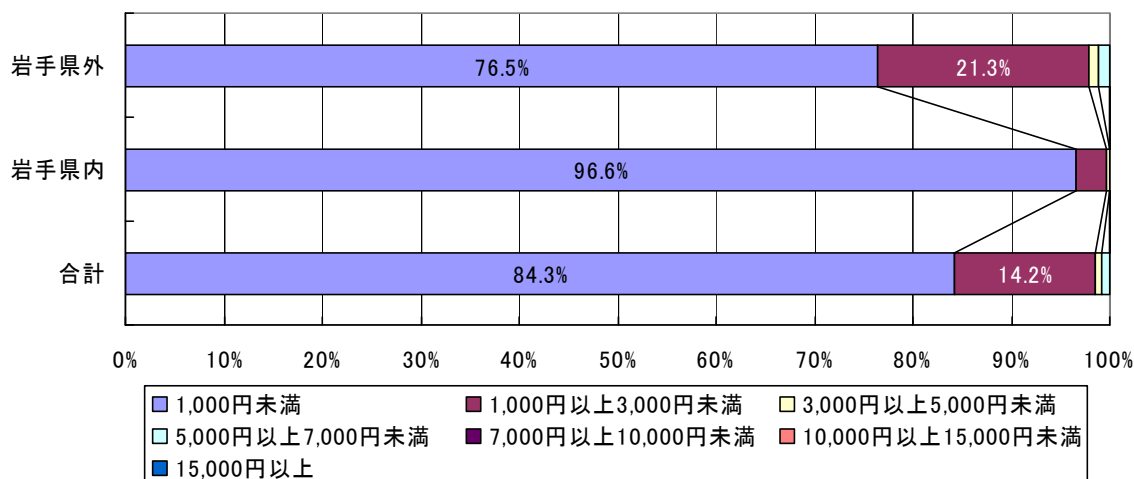


図36 岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・件数）

この図より、1人当たりの入場料は、県内・県外とも「1,000円未満」が最も多く、県内・県外の来訪者ともに、3,000円未満の価格帯までで9割以上を占めている（県内来訪者：99.6%、県外来訪者：98.8%）。



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 15,000円未満	15,000円以上
合計	84.3%	14.2%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県内	96.6%	3.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	76.5%	21.3%	1.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%

図37 岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・比率）

本設問の結果、1人当たりのその他費用を集計しグラフ化したのが図38、39である。

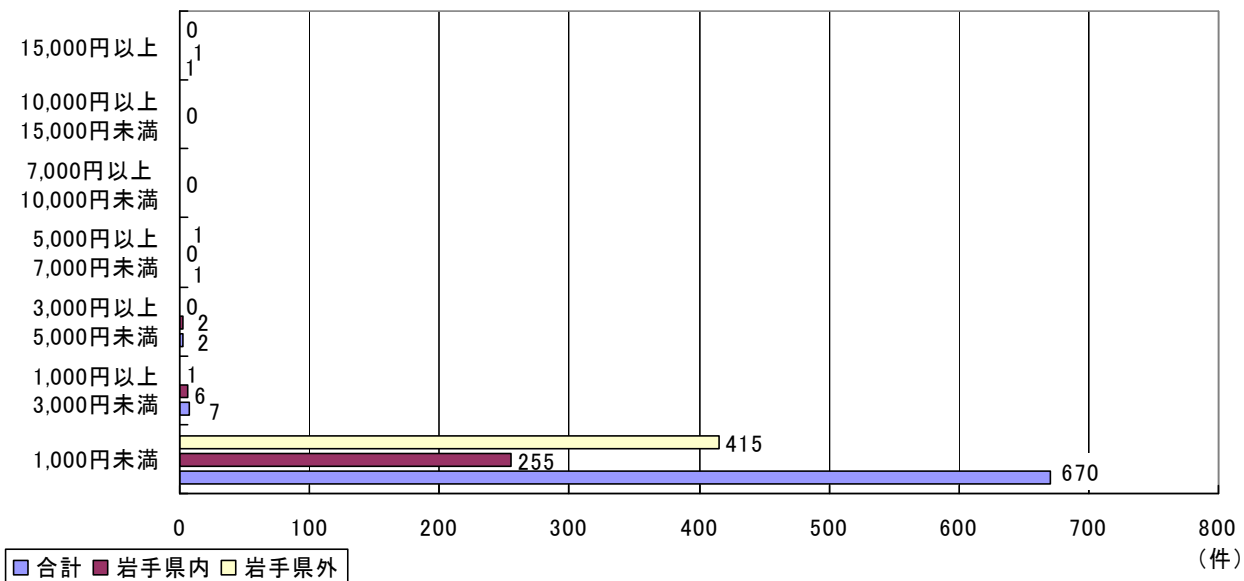
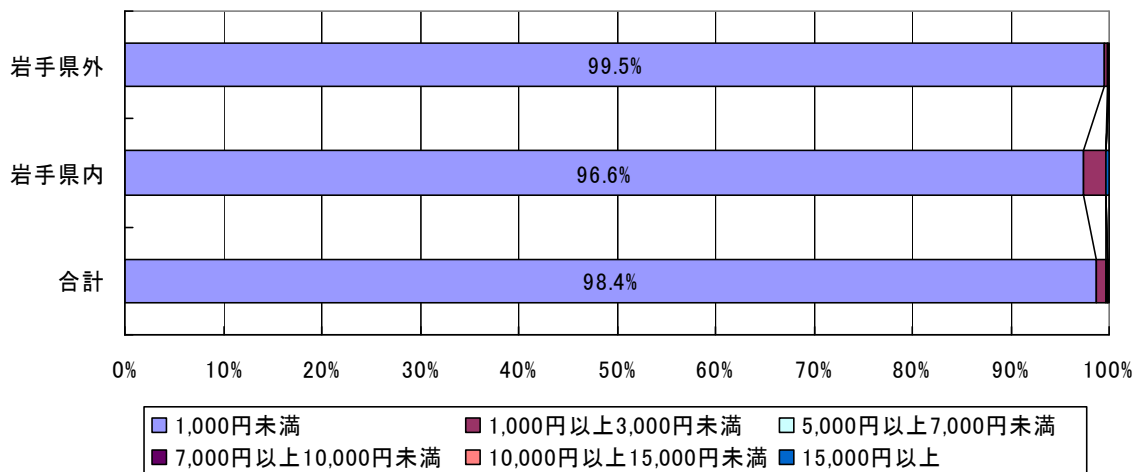


図38 岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・件数）

この図より、1人当たりその他費用は、合計では「1,000円未満」が98.4%と、9割以上を占めており、岩手県内／岩手県外来訪者ともほぼ同じ傾向である。



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上15,000円未満	15,000円以上
合計	98.4%	1.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
岩手県内	96.6%	2.3%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
岩手県外	99.5%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%

図39 岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・比率）

本設問の結果、1人当たりのパック料金を集計しグラフ化したのが図40、41である。  
 この図より、1人当たりのパック料金は、県内・県外の来訪者とも「1,000円未満」が9割近く  
 (89.6%)であるが、これはパックツアーを利用した来訪者が少ないことに所因する。

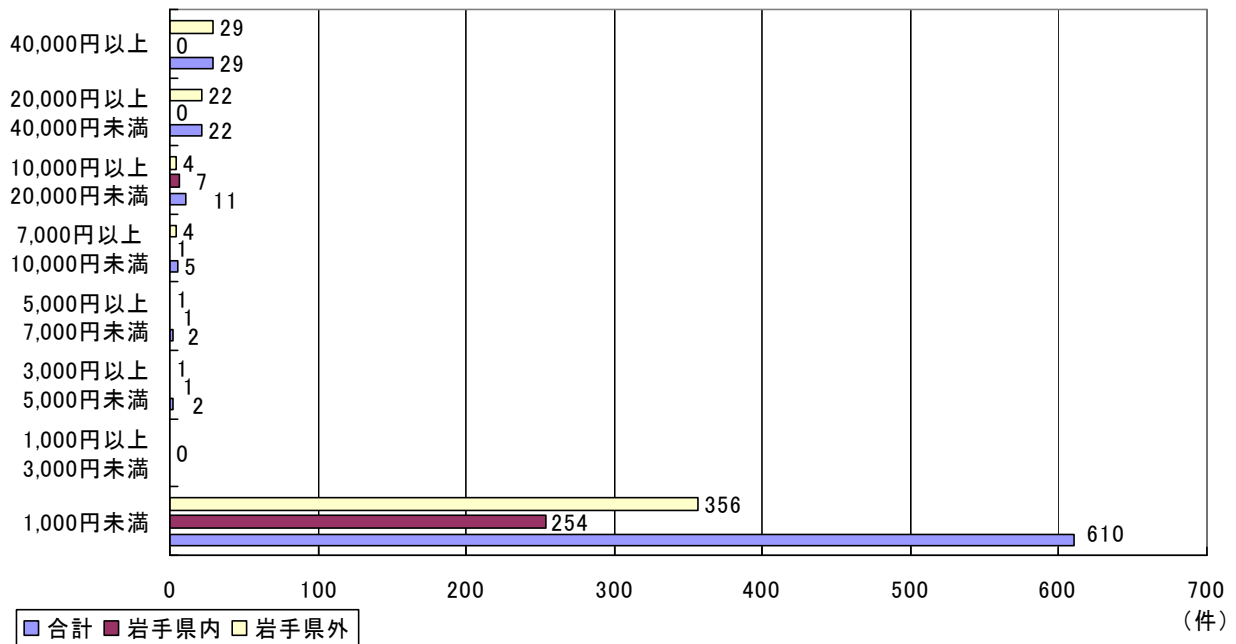
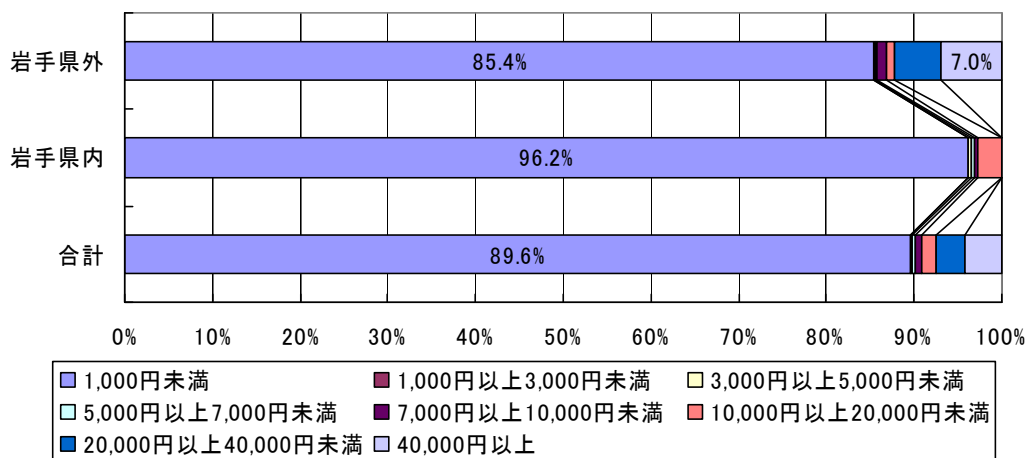


図40 岩手県内/外旅行費用の比較（パック料金・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	89.6%	0.0%	0.3%	0.3%	0.7%	1.6%	3.2%	4.3%
岩手県内	96.2%	0.0%	0.4%	0.4%	0.4%	2.7%	0.0%	0.0%
岩手県外	85.4%	0.0%	0.2%	0.2%	1.0%	1.0%	5.3%	7.0%

図41 岩手県内/外旅行費用の比較（パック料金・比率）

図40、図41で用いたデータより、パcktツアーを利用した来訪者のみに対して再集計しグラフ化したものが、図40-1、図41-1である。

比率を見ると、県内からの来訪者では 20,000円未満が上限であるが、県外からの来訪者では 20,000円以上が8割を超えている（83.6%）。また、パcktツアー利用者の合計件数においては、県外からの来訪者が県内からの来訪者の6倍以上であった（県内来訪者：10件、県外来訪者：61件）。

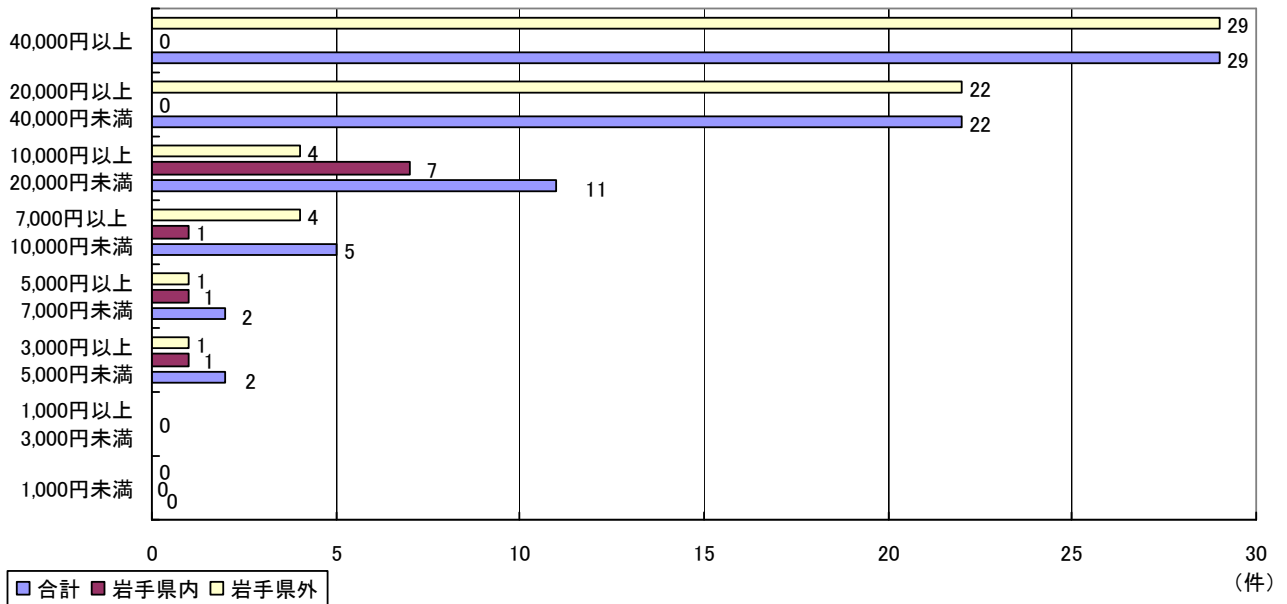
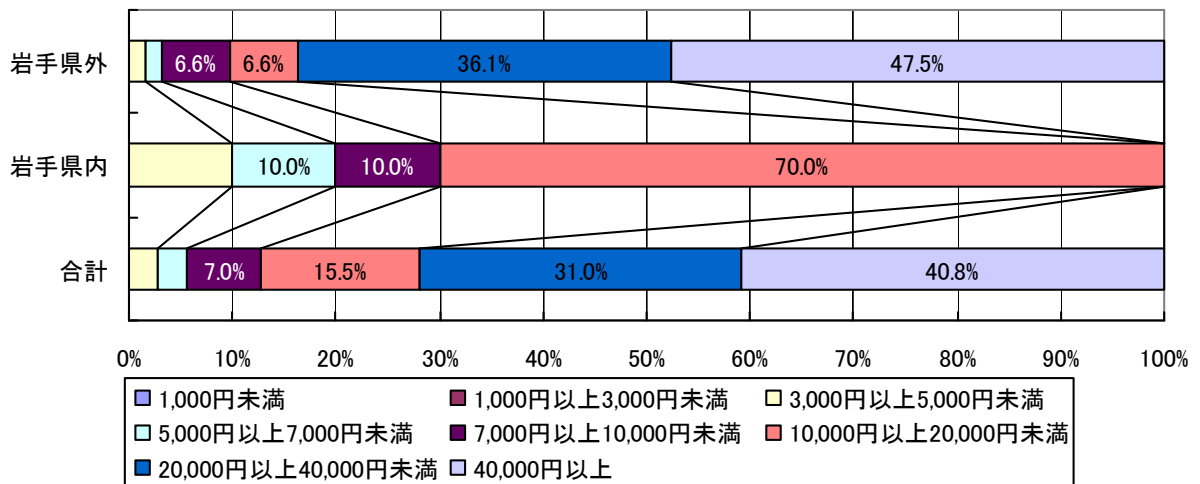


図40-1 岩手県内／外旅行費用の比較 (パckt料金・件数 パcktツアー利用者のみ)



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%	7.0%	15.5%	31.0%	40.8%
岩手県内	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	70.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	0.0%	0.0%	1.6%	1.6%	6.6%	6.6%	36.1%	47.5%

図41-1 岩手県内／外旅行費用の比較 (パckt料金・比率 パcktツアー利用者のみ)